

لَنْ تَنَالُوا الْبِرَّ حَتَّى تُنْفِقُوا مِمَّا تُحِبُّونَ وَمَا تُنْفِقُوا مِنْ شَيْءٍ
 فَإِنَّ اللَّهَ بِهِ عَلِيمٌ ﴿٩٦﴾ كُلُّ الطَّعَامِ كَانَ حَلَالًا لَيْسَ
 إِسْرَءِيلَ إِلَّا مَا حَرَّمَ إِسْرَءِيلُ عَلَى نَفْسِهِ مِنْ قَبْلِ أَنْ تُنزَلَ
 التَّوْرَةُ فُلْ قَاتُوا بِالتَّوْرَةِ فَآتَوْهَا إِنْ كُنْتُمْ صَادِقِينَ
 ﴿٩٧﴾ فَمَنْ أَفْتَرَى عَلَى اللَّهِ الْكُذِبَ مِنْ بَعْدِ ذَلِكَ فَأُولَئِكَ
 هُمُ الظَّالِمُونَ ﴿٩٨﴾ قُلْ صَدَقَ اللَّهُ فَاتَّبِعُوا مِلَّةَ إِبْرَاهِيمَ حَنِيفًا
 وَمَا كَانَ مِنَ الْمُشْرِكِينَ ﴿٩٩﴾ إِنْ أَوَّلَ بَيْتٍ وُضِعَ لِلنَّاسِ لَلَّذِي
 بِبَكَّةَ مُبَارَكًا وَهُدًى لِلْعَالَمِينَ ﴿١٠٠﴾ فِيهِ آيَاتٌ بَيِّنَاتٌ مَقَامُ
 إِبْرَاهِيمَ وَمَنْ دَخَلَهُ كَانَ آمِنًا وَلِلَّهِ عَلَى النَّاسِ حُجُّ الْبَيْتِ
 مَنْ اسْتَطَاعَ إِلَيْهِ سَبِيلًا وَمَنْ كَفَرَ فَإِنَّ اللَّهَ غَنِيٌّ عَنِ الْعَالَمِينَ
 ﴿١٠١﴾ قُلْ يَا أَهْلَ الْكِتَابِ لِمَ تَكْفُرُونَ بِآيَاتِ اللَّهِ وَاللَّهُ شَهِيدٌ
 عَلَى مَا تَعْمَلُونَ ﴿١٠٢﴾ قُلْ يَا أَهْلَ الْكِتَابِ لِمَ تَصُدُّونَ عَنْ
 سَبِيلِ اللَّهِ مَنْ آمَنَ تَبْغُونَهَا عِوَجًا وَأَنْتُمْ شُهَدَاءُ وَمَا اللَّهُ
 بِغَفِلٍ عَمَّا تَعْمَلُونَ ﴿١٠٣﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا إِنْ تَطِيعُوا فَرِيقًا
 مِنَ الَّذِينَ آتَوُوا الْكِتَابَ يَرُدُّوكُمْ بَعْدَ إِيمَانِكُمْ كُفْرِينَ ﴿١٠٤﴾

الجزء الرابع

92 信者たちよ、愛する財産をアッラーの道に費やすまで、あなたがたが善行の民の報奨と位に辿り着くことは出来ない。そしてその多寡を問わず、あなたがたが費やすものに関しては、アッラーはあなたがたの意図と行いをご存知になるのであり、全ての行いに報われるのだ。

93 全てのよい食物は、イスラエールの子孫にとって合法であった。律法書が下る以前、その一部が非合法とされたのは、ヤアクブが自分自身に禁じたものだけだった。それらはユダヤ教徒らが思っているように、律法書の中で禁じられたものではない。預言者よ、かれらに言え。「あなたがたの主張が正しいというのなら、律法書を持ってきて読んでみるがいい。」かれらは驚き、そうはしなかった。これはユダヤ教徒らの律法書に対する嘘と、内容の改竄(かいざん)の一例である。

94 ヤアクブが禁じたのはアッラーによるものではなく、かれが自分自身に対して禁じたものだという証拠が示された後、アッラーに対して嘘をつく者は不正者である。なぜなら証拠が示された後に、真理を拒否したからだ。

95 預言者よ、言え。「アッラーは、ヤアクブに関する話においても、それ以外の啓示と決まりにおいても、正しいことをおっしゃった。だからイブラーヒームの宗教に従え。かれはイスラーム以外のあらゆる宗教から離れたのであり、アッラー以外の何も崇めなかった。」

96 アッラーの崇拜のため、地上で全人類のために建設された館が、マッカにあるアッラーの館である。その館は祝福にあふれ、宗教的にも現世的にも多くのご利益がある。そこには万有への導きがあるのだ。

97 この館には、儀礼のための数々の場所のように、その徳を示す複数の明証がある。その一つが、イブラーヒームがカアバ殿の壁を上げるために足台にした石であり、そこに入った者の恐怖心が消え去り、害を受けることがなくなるということである。よって、それが可能な者は、ハッジの儀式を行うためにこの館を目指せ。ハッジの義務を否定する者がいても、アッラーはそのような不信者はもちろん、その他の被造物も必要とはしていない。

98 預言者よ、言え。「ユダヤ教徒とキリスト教徒よ、どうしてあなたがたは預言者の正しさを示す明証を否定するのか。それらの明証の中には、律法書や福音書によるものもあるのに。アッラーはあなたがたの行いをご存じであり、その証人であられ、それに報いを与えるのだ。」

99 預言者よ、言え。「ユダヤ教徒とキリスト教徒よ、どうしてあなたがたはアッラーの宗教を真理から虚妄へとねじ曲げ、その信徒たちを導きから迷妄へと追いやろうとして、アッラーの宗教の信者たちを阻もうとするのか。あなたがたはこの宗教が真理であり、あなたがたの啓典の中にあるものを確認する証人であるのに。アッラーはあなたがたの不信仰や、アッラーの道をも阻む行為に対し、不注意ではあられない。アッラーはそのことに関して、あなたがたに報われる。」

100 アッラーを信仰し、その使徒に従う者たちよ。もしユダヤ教徒とキリスト教徒が言っていることを受け入れるのなら、かれらはあなたがたを信仰から不信仰へと戻してしまおう。かれらには嫉妬心があり、導きから迷い去っている。

本諸節の功徳:

- アッラーとその預言者たちに対する、ユダヤ教徒の嘘。その一つが、ヤアクブが禁じたある種の食べ物(肉)は律法書によるのだという主張である。
- 最も偉大な崇拜場所は、カアバ殿である。アッラーの崇拜のために建設された最初の館であり、いくつもの特質がある。
- アッラーはハッジの義務性を強調している。

وَكَيْفَ تَكْفُرُونَ وَأَنْتُمْ تُتْلَىٰ عَلَيْكُمْ آيَاتُ اللَّهِ وَفِيكُمْ رَسُولُهُ ۚ وَمَنْ يَعْتَصِم بِاللَّهِ فَقَدْ هُدِيَ إِلَىٰ صِرَاطٍ مُسْتَقِيمٍ ﴿١٥٣﴾
يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا اتَّقُوا اللَّهَ حَقَّ تَقَاتِهِ ۚ وَلَا تَمُوتُنَّ إِلَّا وَأَنْتُمْ مُسْلِمُونَ ﴿١٥٤﴾ وَأَعْتَصِمُوا بِحَبْلِ اللَّهِ جَمِيعًا وَلَا تَفَرَّقُوا ۚ وَاذْكُرُوا نِعْمَتَ اللَّهِ عَلَيْكُمْ إِذْ كُنْتُمْ أَعْدَاءً فَأَلَّفَ بَيْنَ قُلُوبِكُمْ فَأَصْبَحْتُمْ بِنِعْمَتِهِ إِخْوَانًا وَكُنْتُمْ عَلَىٰ شَفَا حُفْرَةٍ مِنَ النَّارِ فَأَنْقَذَكُمْ مِنْهَا كَذَلِكَ يُبَيِّنُ اللَّهُ لَكُمْ آيَاتِهِ ۚ لَعَلَّكُمْ تَهْتَدُونَ ﴿١٥٥﴾ وَلِتُكِنَ مِنْكُمْ أُمَّةٌ يَدْعُونَ إِلَى الْخَيْرِ وَيَأْمُرُونَ بِالْمَعْرُوفِ وَيَنْهَوْنَ عَنِ الْمُنْكَرِ وَأُولَٰئِكَ هُمُ الْمُفْلِحُونَ ﴿١٥٦﴾ وَلَا تَكُونُوا كَالَّذِينَ تَفَرَّقُوا وَاخْتَلَفُوا مِنْ بَعْدِ مَا جَاءَهُمُ الْبَيِّنَاتُ وَأُولَٰئِكَ لَهُمْ عَذَابٌ عَظِيمٌ ﴿١٥٧﴾ يَوْمَ تَبْيَضُّ وُجُوهٌ وَتَسْوَدُّ وُجُوهٌ فَأَمَّا الَّذِينَ اسْوَدَّتْ وُجُوهُهُمْ أَكْفَرْتُمْ بَعْدَ إِيمَانِكُمْ فَذُوقُوا الْعَذَابَ بِمَا كُنْتُمْ تَكْفُرُونَ ﴿١٥٨﴾ وَأَمَّا الَّذِينَ أَبْيَضَّتْ وُجُوهُهُمْ ففِي رَحْمَةِ اللَّهِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿١٥٩﴾ تِلْكَ آيَاتُ اللَّهِ نَتْلُوهَا عَلَيْكَ بِالْحَقِّ وَمَا اللَّهُ يُرِيدُ ظُلْمًا لِلْعَالَمِينَ ﴿١٦٠﴾

101 あなたがたは一旦信仰した後、どうしてアッラーを否定するのか？あなたがたには信仰を確証する最大の理由があるのに。あなたがたにはアッラーの章句が読誦され、使徒ムハンマドはあなたがたにそれを説明している。アッラーの啓典と使徒のスナナにすぎる者を、アッラーは歪みのない道へと導いて下さる。

102 アッラーを信仰し、その使徒に従う者たちよ。あなたがたの主を、真の恐れでもって恐れよ。かれのご命令に従い、かれが禁じたことを避け、かれの恩恵に感謝せよ。あなたがたの宗教に、死が訪れる時まですぎるのだ。

103 信者たちよ、啓典とスナナにすぎり、分裂の原因となるようなことはするな。イスラム以前、些細な理由によって争い合う敵同士であった時、あなたがたの心をイスラムで結びつけて下さったアッラーの恩恵を思い出せ。あなたがたはかれの恩恵により、互いに支え合う、宗教上の同胞となったのだ。それ以前、あなたがたは不信仰のため地獄に入りかけていたが、アッラーがイスラムによってあなたがたをお救いになり、信仰へとお導き下さったのだ。アッラーは現世と来世でのあなたがたの状況を正すため、ご説明下さる。それはあなたがたが正しい道へと導かれるためである。

104 信者たちよ、あなたがたの中から、アッラーが愛されるあらゆる善へと招く一団を作れ。その一団は、天啓と理性によって認められる善行を命じ、天啓と理性によって醜いとされる悪行を禁じる者たち。これらの特徴を備えた者たちこそは、現世と来世において完全なる勝利を掴む者たちである。

105 信者たちよ、分裂して数々の宗派となり、アッラーからの明白なる印の到来後に宗教において意見を異にした、啓典の民のようにはなるな。そのような者たちにこそ、アッラーからの偉大なる懲罰がある。

106 審判の日、偉大なる懲罰がかれらに襲いかかる。この

とき、信者の顔は喜びで白くなり、不信仰者の顔は悲しみで黒くなる。その偉大な日に顔が黒くなった者たちには、お咎めの言葉がある。「あなたがたはアッラーの唯一性と、かれに何ものをも並べてはならないというかれとの契約を、一度信じた後に否定したのか。不信仰者に準備された、アッラーの懲罰を味わえ。」

107 他方、顔が白くなった者の居場所は、安寧の天国。そこに永遠に留まり、永遠の安寧の中にいる。

108 預言者よ、われらがあなたに読んで聞かせる、約束と警告を含む章句は正しい情報であり、公正なる規定である。アッラーは誰に対する不正もお望みではなく、自らが稼いだものによる以外には誰のことも罰さない。

本諸節の功德:

- 啓典の民の欲望への追求は、かれらを迷わせ、アッラーの宗教から遠ざけた。
- 啓典とスナナを固守することこそは、真理の上に確立し、迷いと分裂から身を守るための最大の手段である。
- 信条的問題においてこの共同体に生じた分裂や意見の相違には、それ以前の啓典の民との類似点が見られる。
- 善を勧め、悪を禁じることの義務。共同体の成功は、この特性が要因となっている。

109 天地にあるものの主権は、創造も命令も、アッラーだけに属する。あらゆる被造物に関する物事の帰結は、アッラー。アッラーは全てのものに、相応しい形で報いられる。

110 ムハンマドの共同体よ、あなたがたはアッラーが人々に向けて遣わした、信仰と善行における最良の共同体である。あなたがたは最も人々に有益な者たちであり、天啓と理性によって認められる善行を命じ、天啓と理性によって醜いとされる悪行を禁じる。あなたがたはアッラーを絶対的に信仰し、それを行いで示す。もしユダヤ教徒とキリスト教徒がムハンマドを信じたなら、かれらの現世と来世において最善だったのだが、かれらの大半は逸脱者なのである。

111 信者たちよ、かれらにどれほどの敵意があったとしても、あなたがたの宗教や、あなたがた自身を害することはない。ただ言葉による害だけなのだ。かれらがあなたがたに戦いを仕掛けてきても、敗北するのみ。かれらがあなたがたに勝利することなど、絶対がない。

112 ユダヤ教徒たちはどこにあらうと屈辱にまみれ、アッラーか人々による契約か保護なしには安全でいられない。かれらはアッラーのお怒りを買ひ、窮乏につきまどわれる。それはアッラーの印の否定と、預言者たちの不正なる殺害のためであり、アッラーの決まりに対するかれらの反抗によるものなのである。

113 啓典の民は一樣ではない。かれらの中にはアッラーの宗教において確固とし、アッラーのご命令と禁止事項を遵守する一派がいる。かれらは夜の一部を礼拝に費やし、アッラーの章句を誦する。かれらは預言者ムハンマドが遣わされた後、イスラームを受け入れた啓典の民の一派である。

114 かれらはアッラーと最後の日を固く信じ、善を命じて悪を禁じ、服従行為の時節を有効に利用する者たち。このような者たちこそは、正しい意図と行為を持ったアッラーの僕なのだ。

115 かれらの善行は、その報奨が無となったり、そこから差し引かれたりすることはない。アッラーはご命令に従い、その禁止事項を避ける敬虔な者たちをご存じである。アッラーはかれらの行いをご存知で、それに対して報われる。

وَلِلَّهِ مَا فِي السَّمٰوٰتِ وَمَا فِي الْاَرْضِ وَإِلَى اللَّهِ تُرْجَعُ الْأُمُورُ ﴿١٠٩﴾
 كُنْتُمْ خَيْرَ أُمَّةٍ أُخْرِجَتْ لِلنَّاسِ تَأْمُرُونَ بِالْمَعْرُوفِ
 وَتَنْهَوْنَ عَنِ الْمُنْكَرِ وَتُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَلَوْ آمَنَ أَهْلُ
 الْكِتَابِ لَكَانَ خَيْرًا لَهُمْ مِنْهُمُ الْمُؤْمِنُونَ وَأَكْثَرُهُمْ
 الْفٰسِقُونَ ﴿١١٠﴾ لَنْ يَضُرَّكُمْ إِلَّا أَذًى وَإِنْ يَقْتُلُوكُمْ
 يُؤْتُواكُمْ الْأَدْبَارَ ثُمَّ لَا يُنصَرُونَ ﴿١١١﴾ ضَرَبْتَ عَلَيْهِمْ
 الدِّينَةَ آيَةً مَّا تَقِفُوا إِلَّا بِحَبْلٍ مِنَ اللَّهِ وَحَبْلِ مِنَ النَّاسِ
 وَبِأَنَّهُمْ كَانُوا يُكَفِّرُونَ بِنَايَتِ اللَّهِ وَيَقْتُلُونَ الْأَنْبِيَاءَ
 بِغَيْرِ حَقِّ ذَلِكَ بِمَا عَصَوْا وَكَانُوا يَعْتَدُونَ ﴿١١٢﴾ * لَيْسُوا
 سَوَاءً مِّنْ أَهْلِ الْكِتَابِ أُمَّةٌ قَائِمَةٌ يَتَّبِعُونَ آيَاتِ اللَّهِ
 إِذْ أَنشَأَ اللَّيْلَ وَهُمْ يَسْجُدُونَ ﴿١١٣﴾ يُؤْمِنُونَ بِاللَّهِ وَالْيَوْمِ
 الْآخِرِ وَيَأْمُرُونَ بِالْمَعْرُوفِ وَيَنْهَوْنَ عَنِ الْمُنْكَرِ
 وَيُسَدِّعُونَ فِي الْخَيْرَاتِ وَأُولَئِكَ مِنَ الصَّٰلِحِينَ ﴿١١٤﴾ وَمَا
 يَفْعَلُوا مِنْ خَيْرٍ فَلَنْ يُكْفَرُوهُ وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِالْمُتَّقِينَ ﴿١١٥﴾

المعراج

本諸節の功德:

- この共同体の最大の特色であり、最良さの要因が、善を勧め、悪を禁じることである。それはアッラーへの信仰に次ぐものである。
- アッラーは、啓典の民の罪深さと、アッラーの宗教への拒否、アッラーとの契約不履行のため、かれらへの屈辱を運命づけた。
- 啓典の民は一樣ではない。その中にはアッラーのご命令を実行し、その教えと決まりを遵守する者たちもいる。かれらには偉大な報奨がある。これは預言者ムハンマドが遣わされる以前のこと。

إِنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا لَنْ تُغْنِي عَنْهُمْ أَمْوَالُهُمْ وَلَا أَوْلَادُهُمْ مِنَ اللَّهِ شَيْئًا وَأُولَئِكَ أَصْحَابُ النَّارِ هُمْ فِيهَا خَالِدُونَ ﴿١١٦﴾
 مَثَلُ مَا يُنْفِقُونَ فِي هَذِهِ الْحَيَاةِ الدُّنْيَا كَمَثَلِ رِيحٍ فِيهَا صِرٌّ أَصَابَتْ حَرْثَ قَوْمٍ ظَلَمُوا أَنفُسَهُمْ فَأَهْكَتُهُ وَمَا ظَلَمَهُمُ اللَّهُ وَلَكِنْ أَنفُسُهُمْ يَظْلِمُونَ ﴿١١٧﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَتَّخِذُوا بَطَانَةَ مَنْ دُونِكُمْ لَا يَأْتِ لُونَكُمْ خَبْرًا وَلَا دُونَ مَا عِنْتُمْ قَدْ بَدَتِ الْبَغْضَاءُ مِنْ أَفْوَاهِهِمْ وَمَا تُخْفِي صُدُورُهُمْ أَكْبَرُ قَدْ بَيَّنَّا لَكُمُ الْآيَاتِ إِنْ كُنْتُمْ تَعْقِلُونَ ﴿١١٨﴾ هَاتِنْتُمْ أَوْلِيَاءَ يُحِبُّونَهُمْ وَلَا يُحِبُّونَكُمْ وَتُؤْمِنُونَ بِالْكِتَابِ كُلِّهِ وَإِذَا الْقَوْمُ كَالْوَأَامِ وَإِذَا حَلَوْا عَضُّوا عَلَيْكُمْ الْأَنَامِلَ مِنَ الْغَيْظِ قُلْ مُوتُوا بِغَيْظِكُمْ إِنَّ اللَّهَ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ﴿١١٩﴾ إِنْ تَمَسَسَكُمْ حَسَنَةٌ تَسُؤْهُمْ وَإِنْ نَصَبَكُمْ سَيِّئَةٌ يَفْرَحُوا بِهَا وَإِنْ تَصَبَرُوا وَاتَّقُوا لَا يَضُرُّكُمْ كَيْدُهُمْ شَيْئًا إِنَّ اللَّهَ بِمَا يَعْمَلُونَ مُحِيطٌ ﴿١٢٠﴾ وَإِذْ غَدَوْتُمْ مِنْ أَهْلِكُمْ بُيُوتَ الْمُؤْمِنِينَ مَقْعِدِ الْقِتَالِ وَاللَّهُ سَمِيعٌ عَلِيمٌ ﴿١٢١﴾

①16 アッラーとその使徒を否定する者たちの財産や子孫が、かれらをかれの懲罰から守ってくれることはない、かれのお慈悲をもたらすこともない。むしろそれらはかれらに、更なる懲罰と悔恨をもたらす。かれらは地獄の民であり、永遠にそこに居続ける。

①17 不信仰者たちが善いことに費やし、報奨を期待しているものは、厳しい寒気を含んだ風のようなものである。それは自分自身に不正を働いた民の農作物を襲い、かれらの期待に反して農作物を壊滅させてしまう。同様に、不信仰はかれらが期待する行いの報奨を無としてしまうのだ。アッラーがかれらに不正を行ったのではない。かれはそのようなことから無縁なお方。だが、かれらがアッラーへの不信仰と使徒たちの嘘つき呼ばわりにより、自分自身に不正を働いたのだ。

①18 アッラーを信じ、その使徒に従う者たちよ、信者以外を親友とはするな。秘密や私的な事情を、かれらに知らせるな。かれらはあなたがたを害するために、抜かりが無い。かれらの言葉には既に、あなたがたの宗教に対する中傷、陰口、あなたがたの秘密の暴露など、敵意が現れている。しかしかれらが腹の中に隠している敵意は、更に大きい。信者たちよ、われらはあなたがたに、現世と来世であなたがたの福利をもたらす明証を、明らかにした。あなたがたが主から下されたものを理解するのなら。

①19 信者たちよ、あなたがたはかの民を愛し、かれらに良いことを望んでいる。かれらの方ではあなたがたを愛してはおらず、良いことも望んでいないのに。むしろかれらはあなたがたを憎んでいる。あなたがたは全ての啓典を信じているが、その中にはかれらの啓典も含まれている。他方、かれらはあなたがたの預言者に下された啓典を信じない。あなたがたに出会えば、かれらは口先では「わたしたちは信じた」と言うが、かれらだけになると、あなたがたの団結とイスラームの威光、かれらの惨めな状態に対する口惜しさと怒りから、指先をかむのだ。預言者よ、

言ってやれ。「そのまま、口惜しさと共に死ぬがよい。アッラーは信仰も不信仰も、善悪も、胸のうちにあるものをご存知なのだから。」

①20 信者たちよ、あなたがたに勝利や、財産や子孫などの恩恵が訪れれば、かれらは不安や悲しみに襲われる。他方、あなたがたに敗北や財産や子孫の減少といった災難が降りかかれば、かれらは上機嫌になる。だが、もしあなたがたがアッラーのご命令と定め辛抱し、かれのお怒りを恐れるならば、かれらの策略や害悪があなたがたを害することはない。アッラーはかれらの策略を包囲しており、かれらの期待を裏切るのだ。

①21 預言者よ、ウ فد での多神教徒らとの戦いのために、あなたが屋の初めに出かけたことを思い出せ。あなたはそこで信者たちを戦いの配置につかせ、各々の持ち場を説明した。アッラーはあなたがたの言葉をお聞きになり、あなたがたの行いをご存知のお方。

本諸節の功德:

- 信者が不信仰者と懇意にし、信者たちの状況や秘密をもらすことの禁止。
- 試練や衰退が信者に降りかかれば喜び、よいことが起これば怒るのは、信者に対する不信仰者の敵意の一形態である。
- 不信仰者の策謀に対する予防策は、忍耐、恐怖をあらわにしないこと、敬虔さであり、力と勝利の要因となることの実行である。

إذ هَمَّتْ طَّائِفَتَانِ مِنْكُمْ أَنْ تَفْشَلَا وَاللَّهُ وَلِيَهُمَا وَعَلَى اللَّهِ
 فَاتْتَوَاكَ لِلْمُؤْمِنِينَ ﴿١٢٢﴾ وَلَقَدْ نَصَرَكُمُ اللَّهُ بِبَدْرٍ وَأَنْتُمْ أَذِلَّةٌ
 فَاتَّقُوا اللَّهَ لَعَلَّكُمْ تَشْكُرُونَ ﴿١٢٣﴾ إِذْ تَقُولُ لِلْمُؤْمِنِينَ
 أَلَنْ يَكْفِيَكُمْ أَنْ يُمَدَّ ذِكْرُ رَبِّكُمْ بِثَلَاثَةِ آفٍ مِنَ الْمَلَائِكَةِ
 مُنزَلِينَ ﴿١٢٤﴾ بَلَى إِنْ تَصْبِرُوا وَتَتَّقُوا وَيَأْتُوكُمْ مِنْ فُورِهِمْ
 هَذَا يُمَدِّدْ ذِكْرُ رَبِّكُمْ بِخَمْسَةِ آفٍ مِنَ الْمَلَائِكَةِ مُسَوِّمِينَ
 ﴿١٢٥﴾ وَمَا جَعَلَهُ اللَّهُ إِلَّا بُشْرَى لَكُمْ وَلِتَطْمَئِنَّ قُلُوبُكُمْ بِهِ
 وَمَا النَّصْرُ إِلَّا مِنْ عِنْدِ اللَّهِ الْعَزِيزِ الْحَكِيمِ ﴿١٢٦﴾ لِيَقْطَعَ طَرَفًا
 مِنَ الَّذِينَ كَفَرُوا أَوْ يَكْتَسِبْتَهُمْ فِيَنْقَلِبُوا خَائِبِينَ ﴿١٢٧﴾
 لَيْسَ لَكَ مِنَ الْأَمْرِ شَيْءٌ أَوْ يَتُوبَ عَلَيْهِمْ أَوْ يُعَذِّبَهُمْ فَإِنَّهُمْ
 ظَالِمُونَ ﴿١٢٨﴾ وَلِلَّهِ مَا فِي السَّمَاوَاتِ وَمَا فِي الْأَرْضِ يَغْفِرُ لِمَنْ
 يَشَاءُ وَيُعَذِّبُ مَنْ يَشَاءُ وَاللَّهُ غَفُورٌ رَحِيمٌ ﴿١٢٩﴾ يَأْتِيهَا
 الَّذِينَ ءَامَنُوا لَا تَأْكُلُوا الرِّبَا أَضْعَافًا مُضَاعَفَةً
 وَاتَّقُوا اللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ ﴿١٣٠﴾ وَاتَّقُوا النَّارَ الَّتِي أُعِدَّتْ
 لِلْكَافِرِينَ ﴿١٣١﴾ وَأَطِيعُوا اللَّهَ وَالرَّسُولَ لَعَلَّكُمْ تُرْحَمُونَ ﴿١٣٢﴾

122 預言者よ、サラマ族とハーリサ族の信者からなる二集団に起こったことを、思い出せ。かれらは弱くなり、偽信者たちが引き返した後、かれらも戻ることを望んだ。アッラーはかれらを戦闘において確固とさせ、かれらが戻ろうとするのを阻止し、お助けになる。信者はいつでもアッラーだけを頼るのだ。

123 アッラーはバドルの戦いの時、あなたがたが無勢で、装備も乏しかったにも関わらず、あなたがたを多神教徒たちに勝利させた。だからアッラーのあなたがたに対する恩恵を感謝し、かれを畏れよ。

124 預言者よ、バドルの戦いで、多神教徒たちのもとにやって来る援軍の知らせを受けた後、あなたは信者たちにごう言った。「アッラーがあなたがたを三千の天使たちでお助けになるだけで、十分なのではないか。それらの天使たちは、あなたがたを戦いで強化すべく、アッラーの御許から下るのだ。」

125 それで十分なのだ。そしてあなたがたには、アッラーからもう一つの吉報がある。「もしあなたがたが戦いで忍耐強く、アッラーを畏れるのなら、敵に援軍がすぐ駆けつけたとしても、主からの五千の天使たちによって援助されるのだ。それらの天使たちと、かれらが乗っている馬には印がつけられている。」

126 アッラーは、このご援助と天使たちによる増軍を、あなたがたに対する嬉しい知らせとしたのであり、あなたがたはそれによって安心する。真の勝利とは表面的要因によるものではなく、偉大なお方、その采配と法において英知あるお方であるアッラーによるものなのである。

127 バドルの戦いであなたがたに起こった勝利は、アッラーが不信仰者たちの一派を滅ぼす一方、別の一派には敗北でもって屈辱を味わわせ、憤慨と共に撤退させるためであった。

128 ウフドの戦いでの出来事後、使徒が多神教徒の指導者たちに破滅を祈った時、アッラーはこう仰せられた。「かれらのことはあなたに一切関係のないこと。アッラーにこそ全ての物事は属する。だからアッラーがあなたがたの間に決着をつけるか、かれらが悔悟してイスラームを受け入れるか、または不信仰を続けて罰されるかするまで、忍耐せよ。不信仰を続ける不正者は、罰に値するのだから。」

129 アッラーにこそ、天と地にあるものは属する。かれはそのお慈悲によって、お望みになる者をお赦しになり、その公正さによって、お望みになる者を罰される。アッラーは悔悟する僕に赦し深く、慈悲深いお方。

130 アッラーを信じ、その使徒に従う者たちよ、無明時代の者たちがするように、貸した元金に更なる上乗せをして利子を取ってはならない。アッラーのご命令と禁止事項の遵守によって、アッラーを畏れよ。そうすれば、現世と来世においてあなたがたが求める良いものが手に入るだろう。

131 アッラーが不信仰者のために準備した地獄の炎に対して、自らへの予防をせよ。それは正しい行いをし、禁止事項を避けることによってなされる。

132 ご命令と禁止事項を守ることで、アッラーとその使徒に従え。そうすれば現世と来世においてお慈悲を手に入れるだろう。

本諸節の功德:

- 人が教訓を受けるように、恩恵や罰について語ることの合法性。
- 常に敬虔であること、厳しい戦いにおける忍耐は、アッラーからの勝利とお慈悲を授かるための最大の要因である。
- 全ての物事はアッラーに属する。アッラーこそはお望みになることで裁き、お望みになることを行うお方。真の信者は物事をアッラーにお任せし、アッラーがお決めになったことに従う。
- 利子を始めとした罪は、僕が見捨てられる最大の原因の一つ。それは特に厳しい状況において顕著である。
- ウフドの戦いに関する章句の中で利子の禁止が言及されているのは、イスラームの教えの包括性を示している。また、ある教えに関して話している最中に、別の教えを示すことで、イスラームの教えが互いに密接に関連づけられていることが分かる。

* وَسَارِعُوا إِلَى مَغْفِرَةٍ مِّن رَّبِّكُمْ وَجَنَّةٍ عَرْضُهَا
 السَّمَاوَاتُ وَالْأَرْضُ أُعِدَّتْ لِلْمُتَّقِينَ ﴿١٣٦﴾ الَّذِينَ يَنْفِقُونَ
 فِي السَّرَّاءِ وَالضَّرَّاءِ وَالْكَاطِمِينَ الْغَيْظَ وَالْعَافِينَ
 عَنِ النَّاسِ وَاللَّهُ يُحِبُّ الْمُحْسِنِينَ ﴿١٣٧﴾ وَالَّذِينَ إِذَا فَعَلُوا
 فَحِشَةً أَوْ ظَلَمُوا أَنْفُسَهُمْ ذَكَرُوا اللَّهَ فَاسْتَغْفَرُوا
 لِذُنُوبِهِمْ وَمَن يَغْفِرِ الذُّنُوبَ إِلَّا اللَّهُ وَلَمْ يُصِرُّوا عَلَىٰ مَا
 فَعَلُوا وَهُمْ يَعْلَمُونَ ﴿١٣٨﴾ أُولَٰئِكَ جَزَاءُ هُم مَّغْفِرَةٌ مِّن
 رَبِّهِمْ وَجَنَّتْ تَجْرِي مِّن تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا وَبِعَمَلِهِمْ
 أُجِرُ الْعَمَلِينَ ﴿١٣٩﴾ فَدَخَلَتْ مِّن قِبَلِكُمْ مَسْجِدٌ فَيَسِيرُوا
 فِي الْأَرْضِ فَأَنْظِرُوا كَيْفَ كَانَ عَاقِبَةُ الْمُكْذِبِينَ
 ﴿١٤٠﴾ هَذَا بَيَانٌ لِّلنَّاسِ وَهُدًى وَمَوْعِظَةٌ لِّلْمُتَّقِينَ ﴿١٤١﴾
 وَلَا تَهِنُوا وَلَا تَحْزَنُوا وَأَنْتُمُ الْأَعْلَوْنَ إِن كُنْتُمْ مُؤْمِنِينَ
 ﴿١٤٢﴾ إِن يَمَسُّكُمْ كَرْحٌ فَقَدْ مَسَّ الْقَوْمَ كَرْحٌ مِّثْلُهُ وَتِلْكَ
 الْآيَاتُ لِقَوْمٍ يُؤْمِنُونَ ﴿١٤٣﴾ وَاللَّيْلِ إِذَا يَغْشَىٰ
 وَالنَّجْمِ إِذَا هَوَىٰ وَمِنَ الْأَنْبَاءِ الْوَحْيِ الْحَقُّ ﴿١٤٤﴾
 وَيَتَّخِذُ مِنْكُمْ شُهَدَاءَ وَاللَّهُ لَا يُحِبُّ الظَّالِمِينَ ﴿١٤٥﴾

⑬③ 善行へと競って逃げ、諸々の服従行為によって、アッラーへのお近づきへと(逃げ)。そうすれば、あなたがたはアッラーからの偉大なお赦しを手にし、天地ほどの広さもある天国に入ろう。アッラーはそれを、敬虔なる僕のために準備された。

⑬④ 敬虔なる者たちとは、順境でも逆境でもアッラーの道に財産を費やし、怒りを抑え、不正を受けた相手を大目に見てやる者のこと。アッラーは、このような善行者たちを愛で給う。

⑬⑤ また、かれらは大罪その他の罪を犯したら、アッラーを念じ、罪深い者に対するかれの警告を思い出す者たち。かれらは主が、自分たちの罪を赦し、お咎めにはならないことを後悔して祈る。罪をお赦しになるのは、アッラーだけ。また、かれらは罪を継続せず、自分が罪びとであること、アッラーが全ての罪をお赦しになることを知っている。

⑬⑥ かれらには報奨として、罪の赦しがある。来世ではかれらに、邸宅の下から河川の流れる天国がある。かれらはそこに永遠に留まる。アッラーの服従行為に勤しむ者たちの報いは、何と素晴らしいことか。

⑬⑦ ウフドの戦いの日に信者たちを試練が襲った時、アッラーはお慰めになって、こう仰せられた。「不信仰者たちの滅亡と、試練後の信者たちの勝利というアッラーの定めは、あなたがた以前にも実現した。だから大地を行き、アッラーとその使徒を嘘呼ばわりした者たちの結末がどのようなものだったか、熟慮して見てみよ。かれらの住処は壊滅し、その所有物は失われてしまった。」

⑬⑧ このクルアーンは真理の説明であり、虚妄に対する警告。これは導きへの印であり、敬虔な者たちへの戒めである。かれらはそこから、導きと正道を得るのだ。

⑬⑨ 信者たちよ、ウフドの戦いの日に降りかかったことで、弱気になったり、悲しんだりするな。あなたがたは信仰と勝利への希望、そしてアッラーの援助により、勝利者となるのだ。もしアッラーと、敬虔な僕たちへのかれの約束を信じているのなら。

⑬⑩ 信者たちよ、あなたがたはウフドの戦いの日に痛手を被ったが、不信仰者たちもまた同様の痛手を被ったのだ。アッラーは信者が不信仰者かを問わず、勝利と敗北の日々をお望みのままに振り分ける。それは偽信者と真の信者が区別されたり、殉教者に栄誉が授けられたりするという英知ゆえのこと。アッラーは、奮闘努力を放棄する不正者を愛で給わない。

本諸節の功德:

- 時間を活用して善行に急ぎ、服従行為に最適の時機を逃さないことの推奨。
- いつでも施し、怒りを抑え、人を赦し、被造物に善行を行うのは、天国に入る敬虔な者の特徴である。
- 過去の社会の状況について考えることは、最も学びと教訓をもたらすことの一つである。

وَلِيَمَّحَصَّ اللَّهُ الَّذِينَ ءَامَنُوا وَيَمْحَقَ الْكٰفِرِيْنَ ۗ اَمْ حَسِبْتُمْ اَنْ تَدْخُلُوْا الْجَنَّةَ وَلَمَّا يَعْلَمِ اللّٰهُ الَّذِيْنَ جٰهَدُوْا مِنْكُمْ وَيَعْلَمَ الصّٰبِرِيْنَ ۗ وَلَقَدْ كُفِرْتُمْ تَمْتُوْبَ الْمَوْتِ مِنْ قَبْلِ اَنْ تَلْقَوْهُ فَقَدْ رَاَيْتُمُوْهُ وَاَنْتُمْ تَنْظُرُوْنَ ۗ وَمَا مُحَمَّدٌ اِلَّا رَسُوْلٌ فَدَخَلَتْ مِنْ قَبْلِهٖ الرُّسُلُ اَفَاِيْنَ مَاتَ اَوْ قُتِلَ اَنْقَلَبْتُمْ عَلٰٓى اَعْقَابِكُمْ وَمَنْ يَنْقَلِبْ عَلٰٓى عَقْبَيْهٖ فَلَنْ يُّصَرِّحَ اللّٰهُ شَيْئًا وَّسَيَجْزِي اللّٰهُ الشّٰكِرِيْنَ ۗ وَمَا كَانَ لِنَفْسٍ اَنْ تَمُوْتَ اِلَّا بِاِذْنِ اللّٰهِ كَتَبْنَا مُوْجَلًا وَمَنْ يُّرِيْدْ ثَوَابَ الدُّنْيَا نُؤْتِهٖ مِنْهَا وَمَنْ يُّرِيْدْ ثَوَابَ الْاٰخِرَةِ نُؤْتِهٖ مِنْهَا وَّسَنَجْزِي الشّٰكِرِيْنَ ۗ وَكَأَيِّنْ مِنْ نَّبِيٍّ قَتَلَ مَعَهُ رِبِّيُّوْنَ كَثِيْرًا فَمَا وَهَنُوْا لِمَا اَصَابَهُمْ فِيْ سَبِيْلِ اللّٰهِ وَمَا ضَعُفُوْا وَمَا اسْتَكْبٰرُوْا وَّاللّٰهُ يُحِبُّ الصّٰبِرِيْنَ ۗ وَمَا كَانَ قَوْلَهُمْ اِلَّا اَنْ قَالُوْا رَبَّنَا اَعْفِرْ لَنَا ذُنُوْبَنَا وَاِسْرَافِنَا فِيْ اَمْرِنَا وَثَبَّتْ اَقْدَامَنَا وَاَنْصُرْنَا عَلٰٓى الْقَوْمِ الْكٰفِرِيْنَ ۗ فَكَاتَبَهُمُ اللّٰهُ ثَوَابَ الدُّنْيَا وَحَسْنَ ثَوَابِ الْاٰخِرَةِ وَّاللّٰهُ يُحِبُّ الْمُحْسِنِيْنَ ۗ

141 また、信者たちをその罪から清め、かれらの間から偽信者を取り除き、不信仰者たちを消滅させるという英知があった。

142 信者たちよ、あなたがたは試練や忍耐もなしに、天国に入れると思っていたのか？試練によってこそ、奮闘努力する者と、試練に忍耐する者が明らかになるのに？

143 信者たちよ、死とその辛さに直面するまでは、あなたがたはバドルの戦いの殉教者のようになるべく、不信仰者たちと遭遇することを望んでいた。そして実際にウ فدの戦いの日、あなたがたは、望んでいたものを眼前にしたのである。しかし預言者が殺されたという噂が広がった時、アッラーはそれが原因で戦いをやめた信者たちをお咎めになり、以下のように啓示した。

144 ムハンマドは、過去のアッラーの使徒たちと同様、一人の使徒でしかない。かれらもまた、死んだり殺されたりしたのだ。かれが死んだり殺されたりしたら、あなたがたは宗教を棄て、奮闘努力することをやめるのか？宗教を棄てる者がいても、アッラーがそのことで害されるようなことは一切ない。かれは強力で威光高いお方。むしろ害を受けるのは、現世と来世において損失した棄教者の方である。アッラーは、その宗教の上に確立し、アッラーの道において奮闘努力する感謝深い者たちに、最良の報奨をお授けになる。

145 アッラーが定めた期間と寿命を全うし、宿命に従うことなくして、人が死ぬことはない。その期間は増えも減りもしない。われらは、行いによって現世の報奨を望む者には決められた分だけ与えるが、来世には何の報奨もない。しかし行いによって来世でのアッラーからの報奨を望む者には、その報奨を与えてやる。われらは主に感謝する者に、偉大なる報奨で報いてやる。

146 一体どれだけ多くのアッラーの預言者たちと共に、その追随者たちからなる多くの集団が戦ったであろうか。かれらはアッラーの道において痛手を負っても、怯んで弱体化したり停滞したりすることがなく、敵に屈することもなかった。むしろかれらは忍耐し、確固としていたのだ。アッラーは、かれの道における困難と災難に忍耐する者たちを、愛で給う。

147 かれら忍耐する者たちを試練が襲った時、かれらの言葉はこうだった。「主よ、わたしたちの罪をお赦しになり、わたしたちの行き過ぎをお免じ下さい。敵と遭遇した時にはわたしたちの足元を確固とさせ、不信仰者の民にわたしたちを勝利させて下さい。」

148 こうしてアッラーはかれらに、現世の報奨を与えた。またかれらへのお喜びと、天国の常なる安楽という、来世での報奨もお授けになる。アッラーは善を尽くす者たちを、愛で給う。

本諸節の功德:

- 試練は、奮闘努力し、正直で忍耐強い者たちとそれ以外の者たちとを分別するための、神的な慣例である。
- アッラーの道における奮闘努力とそこへの招きは、ある人間にのみ関連づけられるべきではない。その者の地位が、いかに高かったとしてもそうである。
- 人の寿命は決まっている。人生への執着心がそれを伸ばすことも、勇敢さがそれを短縮することもない。
- 人々の意図は異なる。アッラーの報奨を望む者もいれば、現世を望む者もいる。そのいずれも、自らの意図と行いによって報われる。

يَأَيُّهَا الَّذِينَ ءَامَنُوا إِن تَطِيعُوا الَّذِينَ كَفَرُوا
يَرُدُّكُمْ عَلَىٰ أَعْقَابِكُمْ فَتَنْقَلِبُوا خَاسِرِينَ

﴿١٤٩﴾ بَلِ اللَّهُ مَوْلَاكُمْ وَهُوَ خَيْرُ النَّاصِرِينَ ﴿١٥٠﴾ سَنَلْقَىٰ

فِي قُلُوبِ الَّذِينَ كَفَرُوا الرَّعْبَ بِمَا أَشْرَكُوا بِاللَّهِ
مَا لَمْ يُنَزَّلْ بِهِ سُلْطَانًا وَمَأْوَاهُمُ النَّارُ وَبَشَّ

مَثْوَى الظَّالِمِينَ ﴿١٥١﴾ وَلَقَدْ صَدَقَكُمُ اللَّهُ

وَعَدَهُ إِذْ تَحْسُبُونَهُمْ بِإِذْنِهِ حَتَّىٰ إِذَا فَشِلْتُمْ

وَتَنَزَعْتُمْ فِي الْأَمْزِجِ وَعَصَيْتُمْ مِّن بَعْدِ مَا أَرْسَلَكُمْ

مَّا تُحِبُّونَ مِنْكُمْ مَّن يُرِيدُ الدُّنْيَا وَمِنْكُمْ مَّن

يُرِيدُ الْآخِرَةَ ثُمَّ صَرَفَكُمْ عَنْهُمْ لِيَبْتَلِيَكُمْ

وَلَقَدْ عَفَا عَنْكُمْ وَاللَّهُ ذُو فَضْلٍ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ

﴿١٥٢﴾ * إِذْ نَصَعَدُونَ وَلَا تَلْوُونَ عَلَىٰ أَحَدٍ

وَالرَّسُولُ يَدْعُوكُمْ فِي أُخْرَاكُمْ فَأَتَّبَكُمْ

غَمًّا بَعِيرًا لِّكَيْلَا تَحْزَنُوا عَلَىٰ مَا فَاتَكُمْ وَلَا

مَا أَصَابَكُمْ وَاللَّهُ خَبِيرٌ بِمَا تَعْمَلُونَ ﴿١٥٣﴾

ーは信仰者たちに、偉大なお恵みをお授けになるお方。かれはかれらを信仰へと導きになり、悪行を赦し、災難においては報奨をお授け下さったのだ。

﴿149﴾ 信者たちよ、思い出せ。ウフドの日、使徒の命令に対する違反ゆえにあなたがたを失敗が襲い、あなたがたが逃亡した時のことを。あなたがたはお互いに視線をやることもなかったが、使徒はあなたがたの後方から「アッラーの僕たちよ、私のもとへ」と呼んでいたのである。アッラーはあなたがたに、勝利と戦利品の喪失という痛みをもって報われた。そしてその後、預言者の殺害という噂があなたがたの間に広まり、更なる痛みが続いた。アッラーがあなたがたをこのようにしたのは、預言者が殺されてはいなかったことを知った後、あなたがたが失った勝利や戦利品、あなたがたを襲った痛手について、あなたがたが悲しまないようにするためであった。これによりあなたがたの災難や痛みは、和らいだのである。アッラーは全てに通曉されたお方であり、あなたがたの心も行いも全て、かれから隠されることはない。

本諸節の功德:

- 不信仰者たちとその欲望に従うことへの警告。その結末は現世と来世での損失である。
- アッラーの敵の心に恐怖が吹き込まれることは、アッラーに近い信者に対するアッラーからのご援助である。
- 戦いにおける敗北の最大の原因の一つが、現世への執着心と貪欲さ、司令官の命令に対する不服従である。
- アッラーは教友たちの過ちの言及後、お赦しでもって言及した。これは、かれらの徳を示す印である。

﴿149﴾ アッラーを信じ、その使徒に従う者たちよ。もしユダヤ教徒、キリスト教徒、多神教徒といった不信仰な者たちが命じる迷妄に従えば、不信仰者だった時の状態へ戻ってしまおう。そうすればあなたがたは、現世と来世における損失者となるのだ。

﴿150﴾ 不信仰者たちは、あなたがたがかれらに従ったとしても、あなたがたを助けはしない。アッラーこそが敵に対するあなたがたの援助者なのだから、かれにこそ従え。かれこそは最善の援助者であり、あなたがたはかれ以外に誰も必要とはしない。

﴿151﴾ われらはアッラーを否定する者たちの心に、激しい恐怖を放り込もう。かれらはそれにより、あなたがたとの戦いに確固としていられなくなる。それはかれらが何の権威もなく、アッラーに神々を並べているからなのだ。かれらの来世での定住地は地獄。不正者たちの定住地である地獄は、何と忌まわしいものか。

﴿152﴾ ウフドの日、アッラーは敵に対する勝利という、あなた方への約束を履行された。あなた方はアッラーのお許しと共に、かれらと激しく戦っていた。しかしそれは、あなた方が怯み、弱気になってしまった時までのことだった。あなた方は自分たちの持ち場に留まるか、離れて戦利品を集めるかで意見が異なり、決して持ち場を離れてはならないという使徒の命令に反してしまった。そのことは、アッラーがあなた方に敵への勝利をお見せになった後、あなた方自身によって起こったのである。あなた方の内には現世の戦利品を欲する者もいるが、それが持ち場を離れた者たちである。あなた方の内には来世での報奨を望む者もいるが、それが使徒の命令に従って持ち場に留まった者たちである。その後、アッラーはあなた方をかれらから離し、かれらにあなた方を制圧させた。それはあなた方への試練であり、忍耐強い信者が明らかになるためだった。そしてアッラーは確かに、使徒の命令に対する違反に関し、あなた方をお赦しになったのである。アッラー

ثُمَّ أَنْزَلَ عَلَيْكُمْ مِنْ بَعْدِ الْغَمِّ أَمَنَةً نُبَأَ سَائِعِيهِمْ طَائِفَةٌ
 مِنْكُمْ وَطَائِفَةٌ قَدْ أَهَمَّتْهُمْ أَنْفُسُهُمْ يَظُنُّونَ بِاللَّهِ غَيْرَ
 الْحَقِّ ظَنَّ الْجَاهِلِيَّةِ يَقُولُونَ هَلْ لَنَا مِنَ الْأَمْرِ مِنْ شَيْءٍ
 قُلْ إِنَّ الْأَمْرَ كُلَّهُ لِلَّهِ يُخْفُونَ فِي أَنْفُسِهِمْ مَا لَا يُبْدُونَ لَكَ
 يَقُولُونَ لَوْ كَانَ لَنَا مِنَ الْأَمْرِ شَيْءٌ مَا قَاتَلْنَا هَهُنَا قُلْ لَوْ كُنْتُمْ
 فِي بُيُوتِكُمْ لَبَرَزَ الَّذِينَ كُتِبَ عَلَيْهِمُ الْقَتْلُ إِلَى مَضَاجِعِهِمْ
 وَلِيَبْتَلِيَ اللَّهُ مَا فِي صُدُورِكُمْ وَلِيُمَحَّصَ مَا فِي قُلُوبِكُمْ
 وَاللَّهُ عَلِيمٌ بِذَاتِ الصُّدُورِ ﴿١٥٦﴾ إِنَّ الَّذِينَ تَوَلَّوْا مِنْكُمْ
 يَوْمَ أَلْتَمَى الْجَمْعَانَ إِنَّمَا أَسْتَرْزَلَهُمُ الشَّيْطَانُ لِيَبْغِضَ
 مَا كَسَبُوا وَلَقَدْ عَفَا اللَّهُ عَنْهُمْ إِنَّ اللَّهَ غَفُورٌ حَلِيمٌ ﴿١٥٧﴾ يَا أَيُّهَا
 الَّذِينَ آمَنُوا لَا تَكُونُوا كَالَّذِينَ كَفَرُوا وَقَالُوا لِإِخْوَانِهِمْ إِذَا
 ضَرَبُوا فِي الْأَرْضِ أَوْ كَانُوا غُزًى لَوْ كَانُوا عِنْدَنَا مَا مَاتُوا
 وَمَا قُتِلُوا لِيَجْعَلَ اللَّهُ ذَلِكَ حَسْرَةً فِي قُلُوبِهِمْ وَاللَّهُ يُخَيِّئُ
 وَيُمَيِّتُ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ بَصِيرٌ ﴿١٥٨﴾ وَلَئِنْ قُتِلْتُمْ فِي سَبِيلِ
 اللَّهِ أَوْ مِتُّمْ لَمَغْفِرَةٌ مِنَ اللَّهِ وَرَحْمَةٌ خَيْرٌ مِمَّا يَجْمَعُونَ ﴿١٥٩﴾

⑮その後、痛みと苦しみの後に安堵が訪れた。アッラーのお約束を信頼する者たちは眠りに襲われ、その心に安心が訪れた。しかし偽信者らは保身ばかり考え、安心も眠りも訪れることがなかった。かれらは心配と恐怖に囚われ、アッラーは使徒と信徒たちのことを援助することなどない、アッラーに対して悪い憶測を抱いていた。その憶測は、ジャーヒリヤ(無明時代)の人々の憶測のようであった。偽信者たちは、アッラーに対する無知から、こう言う。「戦いへの出征に関し、わたしたちに意見を言う余地はなかった。」預言者よ、言ってやれ。「事は全て、アッラーに属する。かれこそはお望みのことをお定めになるお方。かれこそが、あなたがたの出征をお定めになったのである。」偽信者たちは、あなたには見せない疑念や悪い憶測を隠しつつ、こう言う。「もし出征に関し、わたしたちに意見の余地があったのなら、ここで命を失うこともなかったのだ。」預言者よ、言え。「殺害や死の場所から遠い自分の家にいたとしても、アッラーから殺害を定められた者は、殺される場所へと出向いていくのである。」アッラーがこのことをお定めになったのは、あなたがたの意図と目的を試み、信仰と偽の信仰を分別するためだった。アッラーは胸の内をご存知のお方。かれから隠られるものはない。

⑯ムハンマドの仲間たちよ、ウフドで多神教徒たちとムスリムたちが出遭った日、敗北者たちは自らが犯した罪によって、シャイターンに躓(つまず)かせられたのだ。しかしアッラーはかれらをお赦しになり、そのお慈悲ゆえ、かれらをお咎めにはならなかった。アッラーは悔悟する者に赦し深く、罰を急がない寛容なお方。

⑰アッラーを信じ、その使徒に従う者たちよ。糧を求めて旅に出たり、戦いに参加したりして死んだり殺されたりした親戚縁者に対し、「もしかれらが出かけたり、戦いに出たりせずに、わたしたちと一緒にいたなら、死ぬことも殺されることもなかったのに」などと言う、偽信者たちのようにはなるな。このような考えは、かれらの心に後悔や悲しみが深まるべくして、生じたものなのだ。アッラーのみが生かせ、死なせるお方。残留が定命を妨げることも、出征が定命を早めることもない。アッラーはあなたがたの行いをご覧になり、かれに隠されることなどはない。かれはそれに対して、報いるのである。

⑱信者たちよ、もしあなたがたがアッラーの道において殺されたり、死んだりしても、アッラーは必ずやあなたがたをお赦しになり、そのお慈悲で慈しんで下さる。それはこの現世と消え行く安寧よりも、よいのである。

本諸節の功德:

- アッラーとその属性に関する無知は、誤った信条と悪行をもたらす。
- 人間の寿命は定められており、期限がある。勇敢さがそれを早めることも、臆病さや執着心がそれを遅らせることもない。
- アッラーがその僕たちを試練にかけるとは、かれの慣例であり、善いものと悪いものを分別する。
- アッラーのもとで最も偉大で高貴な位は、アッラーの道における殉教者の位である。

وَلَيْنٍ مُّتَّبِعَةٍ أَوْ نُنْتَهَى لِيَلِيَ اللَّهُ تَحْشُرُونَ ﴿١٥٨﴾ فِيمَا رَحِمَهُ مِنَ اللَّهِ
 لِنْتُ لَهُمْ وَلَوْ كُنْتَ فَظًّا غَلِيظَ الْقَلْبِ لَأَنْفَضُوهُمِنْ حَوْلِكَ
 فَاتَّعَفَوْا عَنْهُمْ وَاسْتَغْفِرُ لَهُمْ وِشَاؤُهُمْ فِي الْأَمْرِ فَاذًا عَزَمْتَ
 فَتَوَكَّلْ عَلَى اللَّهِ إِنَّ اللَّهَ يُحِبُّ الْمُتَوَكِّلِينَ ﴿١٥٩﴾ إِنْ يَبْصُرْكُمْ اللَّهُ
 فَلَا غَالِبَ لَكُمْ وَإِنْ يَخْذُلْكُمْ فَمَنْ ذَا الَّذِي يَبْصُرُكُمْ مِنْ
 بَعْدِهِ وَعَلَى اللَّهِ فَلْيَتَوَكَّلِ الْمُؤْمِنُونَ ﴿١٦٠﴾ وَمَا كَانَ لِنَبِيٍّ أَنْ
 يَكْفُرَ وَمَنْ يَكْفُرْ يَأْتِ بِمَا عَلَّ يَوْمَ الْقِيَامَةِ ثُمَّ تُوَفَّى كُلُّ
 نَفْسٍ مَّا كَسَبَتْ وَهُمْ لَا يُظَاهَمُونَ ﴿١٦١﴾ أَفَمَنْ أَتَّبَعَ رِضْوَانَ
 اللَّهِ كَمَنْ بَاءَ بِسَخَطٍ مِنَ اللَّهِ وَمَا أَوْلَهُ جَهَنَّمَ وَيَبْسُ الْمَصِيرُ
 ﴿١٦٢﴾ هُمْ دَرَجَاتٌ عِنْدَ اللَّهِ وَاللَّهُ بَصِيرٌ بِمَا يَعْمَلُونَ ﴿١٦٣﴾ لَقَدْ
 مَنَّ اللَّهُ عَلَى الْمُؤْمِنِينَ إِذْ بَعَثَ فِيهِمْ رَسُولًا مِنْ أَنْفُسِهِمْ
 يَتْلُوا عَلَيْهِمْ آيَاتِهِ وَيُزَكِّيهِمْ وَيُعَلِّمُهُمُ الْكِتَابَ
 وَالْحِكْمَةَ وَإِنْ كَانُوا مِنْ قَبْلُ لَفِي ضَلَالٍ مُبِينٍ ﴿١٦٤﴾ أَوَلَمْ
 أَصَابَتْكُمْ مُصِيبَةٌ قَدْ أَصَبْتُمْ مِثْلَيْهَا قُلْتُمْ أَنَّى هَذَا
 قُلْ هُوَ مِنْ عِنْدِ أَنْفُسِكُمْ إِنَّ اللَّهَ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿١٦٥﴾

①58) どのような状態で死のうと、殺されようと、あなたがたは皆、アッラーの御許に戻り行く。かれはあなたがたの行いに報いるのだ。

①59) 預言者よ、教友たちに対するあなたの品性が柔和だったのは、アッラーからのお慈悲によるものだった。もしあなたがその言動において厳しかったら、かれらは離れていってしまっただろう。だからかれらの至らなさを大目に見、かれらのためにお赦しを乞い、必要に応じてかれらと相談せよ。相談後に決心したらそれを実行し、アッラーに委ねるのだ。アッラーはかれに委ねる者たちを愛し、成功へとお助けになる。

①60) アッラーの援助を得た者には、誰も打ち勝てない。たとえ地上にいる者が、一丸になったとしてもである。しかし、かれがあなたがたの援助をやめ、物事をあなたがた自身に委ねられるのであれば、あなたがたを助けることの出来る者はない。勝利はかれの御手にかかっている。信者にはアッラーにのみ委ねさせよ。

①61) いかなる預言者も、戦利品をごまかすことなどはない。アッラーが特別にかれに与えたものは別だが。戦利品をごまかして取る者は、審判の日に暴露され、自分がせしめた物を携えて現れる。全ての者は、自分が稼いだものを不足なく報われる。悪行を増しされたり、善行を削減されたりすることはない。

①62) アッラーのお喜びを得られる信仰や善行に従う者と、アッラーを否定し悪行を行う者は、一樣ではない。そのような者はアッラーからの厳しいお怒りを買ひ、地獄に定住することになる。それは何とひどい定住の場だろうか。

①63) かれらの地位は現世と来世において多様である。アッラーはかれらの行いをご覧になり、かれから隠れられるものはない。かれは行いに応じて、全ての者に報いる。

①64) アッラーは信者たちにお恵みと善を施された。かれらに、クルアーンを読んで聞かせ、シルク(多神教)と悪い品性から清め、クルアーンとスンナを教える使徒を、かれら自身の中から遣わされたのだから。かれらは使徒が遣わされる以前、明らかな迷いの中にあった。

①65) 信者たちよ、ウフドの敗北であなたがたに災難と殺害が降りかかったとしても、バドルの日にはあなたがたが敵に対し、殺害や捕囚による倍の損害を与えたではないか。あなたがたは言った。「わたしたちの内には預言者がいるのに、なぜこのような損失が襲ったのか？」預言者よ、言え。「あなたがたの災難は、自分の責任。あなたがたは争い合い、使徒に反したのだ。」アッラーは全てのことがお出来のお方。お望みの者をお助けになり、お望みの者を見放される。

本諸節の功德:

- 真の勝利は、アッラーからのもの。かれこそは誰も太刀打ちできない強力かつ偉大なお方。
- アッラーの導きに従い、それに則って行った者と、それを嘘として背を向けた者は、現世においても来世においても同様ではない。
- 僕に降りかかる試練は、自分自身の罪が原因。試練は時に位階を上げる要因にもなる。アッラーは罪をよくお赦しになり、大目に見られる。

وَمَا أَصَابَكُمْ يَوْمَ التَّتَفَى الْجَمْعَانِ فَيَا ذُنَّ اللَّهَ وَلِيَعْلَمَ الْمُؤْمِنِينَ
 ١٦٦ وَلِيَعْلَمَ الَّذِينَ نَافَقُوا وَقِيلَ لَهُمْ تَعَالَوْا قَاتِلُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ
 أَوْ ادْفَعُوا قَالُوا لَوْ نَعْلَمُ قِتَالًا لَاتَّبَعْنَاكُمْ هُمْ لِلْكَفْرِ يَوْمَئِذٍ
 أَقْرَبُ مِنْهُمْ لِلْإِيمَانِ يَقُولُونَ بِأَفْوَاهِهِمْ مَا لَيْسَ فِي قُلُوبِهِمْ
 وَاللَّهُ أَعْلَمُ بِمَا يَكْتُمُونَ ١٦٧ الَّذِينَ قَالُوا لِإِخْوَانِهِمْ وَقَعَدُوا
 لَوْ أ طَاعُونَا مَا قَاتَلُوا قُلُوبًا فَادْرَأْهُ وَأَعْنِ أَنْفُسَكُمْ الْمَوْتِ إِنْ
 كُنْتُمْ صَادِقِينَ ١٦٨ وَلَا تَحْسَبَنَّ الَّذِينَ قَاتَلُوا فِي سَبِيلِ اللَّهِ
 أَمْوَاتًا بَلْ أَحْيَاءٌ عِنْدَ رَبِّهِمْ يُرْزَقُونَ ١٦٩ فَرِحِينَ بِمَا آتَاهُمُ
 اللَّهُ مِنْ فَضْلِهِ وَيَسْتَبْشِرُونَ بِالَّذِينَ لَمْ يَلْحَقُوا بِهِمْ
 مِنْ خَلْفِهِمْ أَلَّا خَوْفٌ عَلَيْهِمْ وَلَا هُمْ يَحْزَنُونَ * يَسْتَبْشِرُونَ
 بِنِعْمَةِ رَبِّهِمْ وَاللَّهُ وَفْضِيلٌ وَأَنْتَ اللَّهُ لَا يُضِيعُ أَجْرَ
 الْمُؤْمِنِينَ ١٧٠ الَّذِينَ اسْتَجَابُوا لِلَّهِ وَالرَّسُولِ مِنْ بَعْدِ مَا أَصَابَهُمُ
 الْقَرْحُ لِلَّذِينَ أَحْسَنُوا مِنْهُمْ وَاتَّقُوا أَجْرٌ عَظِيمٌ ١٧١
 الَّذِينَ قَالُوا لَهُمُ النَّاسُ إِنَّ النَّاسَ قَدْ جَمَعُوا لَكُمْ فَاخْشَوْهُمْ
 فَزَادَهُمْ إِيمَانًا وَقَالُوا حَسْبُنَا اللَّهُ وَنِعْمَ الْوَكِيلُ ١٧٢

الجزء
٨

166 ウフドの日にあなたがたと多神教徒たちが出遭い、あなたがたに殺害と敗北が降りかかったのは、アッラーのお許しによるものだった。また、それは正直な信者が明確になるための、英知ゆえのことだった。

167 また、偽信者たちが明確になるためでもあった。かれらは「アッラーの道において戦え。あるいは、ムスリムの集団に加わって防衛せよ」と言われれば、こう言ったのだ。「戦いが起こるのを知っていたら、あなた方に従うのだが。しかしわたしたちは、あなた方とかの民との間に戦いが起こるとは思わない。」かれらはその時、信仰よりもむしろ不信仰を表明していた。かれらは心にもないことを口先で言う。アッラーはかれらの胸の内をご存知であり、かれらを罰し給う。

168 かれらは出征せずに留まり、ウフドの日に被害を受けた近親の者たちに、こう言ったのだ。「わたしたちに從って出征しなかったら、殺されることもなかったのに。」預言者よ、かれらに反論して言え。「死があなたがたに降りかかった時、それを押し返してみよ。もし、自分たちに從っていたら殺されなかったであろうと、また、あなたがたが死を免れたのはアッラーの道において奮闘努力せずに残留していたからである、と主張するのであれば。」

169 預言者よ、アッラーの道に奮闘努力して殺された者たちが死者であるなどと、考えてはならない。いや、かれらは主の荣誉を授かり、かれの御許で格別の生を送っているのだ。かれらはアッラー以外にはご存知にならない様々な安寧と糧を授かっている。

170 アッラーから授かった恩恵により、かれらは幸福に浸っている。そして現世に残してきた同胞たちが、かれらと一緒になることを待望している。奮闘努力して殺されれば、かれらと同様の恩恵を得るのだ。来世について恐れることもなく、現世で失った幸運を悲しむこともない。

171 かれらにはこの他にも、アッラーからの大きな報奨が待ち受けている。報奨の上に、更なる偉大な上乗せもある。信者たちの報奨は無駄にされない。アッラーは報奨を完遂し、増やして下さる。

172 アッラーの道における戦いへの出征と、ハムラーウ・アルアサドでの多神教徒たちとの戦いへと呼ばれた時、アッラーとその使徒の命令に応じた者たち。ハムラーウ・アルアサドは、ウフドの日にかれらが負傷した後の出来事だった。かれらは負傷していたが、アッラーとその使徒の呼びかけに応じた。よい行いをし、アッラーのご命令と禁止事項においてアッラーを畏れる者たちには、偉大な報奨がある。それは天国なのだ。

173 多神教徒たちから「アブー・スフヤーン率いるクライシュ族が、あなたがたを根絶やしにするため集結している。かれらとの遭遇を恐れよ」と脅されても、アッラーへの信仰心と信頼しが増すことがなかった者たち。かれらは、敵と対面するために出征し、言ったのだ。「わたしたちにはアッラーだけで十分。かれは物事を委ねるに最良のお方。」

本諸節の功德:

- 僕たちが試練にかけられるのは、アッラーの慣例である。それは真の信者と偽信者、正直者と嘘つきが明確になるためなのだ。
- アッラーの道における奮闘努力と殉教の偉大な地位と報奨。アッラーはこのような者たちを、最も高い位に置かれる。
- 教友の徳と、現世と来世における高い位。かれらはアッラーの道において、命と財産をかけて努力した。

فَاتَّقِبُوا نِعْمَةً مِّنَ اللَّهِ وَفَضْلٍ لَّمْ يَمَسَّسْهُمْ سُوءٌ وَاتَّبِعُوا
 رِضْوَانَ اللَّهِ وَاللَّهُ ذُو فَضْلٍ عَظِيمٍ ﴿١٧٤﴾ إِنَّمَا ذَلِكُمُ الشَّيْطَانُ
 يُخَوِّفُ أَوْلِيَاءَهُ فَلَا تَخَافُوهُمْ وَخَافُوا إِن كُنْتُمْ مُؤْمِنِينَ ﴿١٧٥﴾
 وَلَا يَحْزُنْكَ الَّذِينَ يَسْكُرُونَ فِي الْكُفْرِ إِنَّهُمْ لَن يَضُرُّو اللَّهَ
 شَيْئًا يُرِيدُ اللَّهُ أَلَّا يَجْعَلَ لَهُمْ حِطًّا فِي الْآخِرَةِ وَلَهُمْ عَذَابٌ
 عَظِيمٌ ﴿١٧٦﴾ إِنَّ الَّذِينَ اشْتَرُوا الْكُفْرَ بِالْإِيمَانِ لَن يَضُرُّو اللَّهَ
 شَيْئًا وَلَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿١٧٧﴾ وَلَا يَحْسَبَنَّ الَّذِينَ كَفَرُوا أَنَّمَا
 نُضِلُّهُمْ خَيْرٌ لَّأَنْفُسِهِمْ إِنَّمَا نُمَلِّئُهُمْ لِيُزَادُوا إِثْمًا وَلَهُمْ
 عَذَابٌ مُّهِينٌ ﴿١٧٨﴾ مَا كَانَ اللَّهُ لِيَذَرَ الْمُؤْمِنِينَ عَلَىٰ مَا أَنْتُمْ
 عَلَيْهِ حَتَّىٰ يَمِيزَ الْخَبِيثَ مِنَ الطَّيِّبِ وَمَا كَانَ اللَّهُ لِيُظْلِعَكُمْ
 عَلَى الْغَيْبِ وَلَكِنَّ اللَّهَ يَجْتَبِيٰ مِن رُّسُلِهِ مَن يَشَاءُ فَآمَنُوا بِاللَّهِ
 وَرُسُلِهِ وَإِن تُؤْمِنُوا وَتَتَّقُوا فَلَكُمْ أَجْرٌ عَظِيمٌ ﴿١٧٩﴾ وَلَا يَحْسَبَنَّ
 الَّذِينَ يَبْخُلُونَ بِمَاءِ أَنفُسِهِمْ أَنَّ لَهُمْ أَجْرًا كَبِيرًا
 بَلْ هُمْ شُرَكَاءُ لِّسَيِّئَاتِهِمْ سَيِّئُوا فَمَّا بَخُلُوا بِهٖ يَوْمَ الْقِيَامَةِ وَاللَّهُ
 مِيرَاثُ السَّمٰوٰتِ وَالْأَرْضِ وَاللَّهُ بِمَا تَعْمَلُونَ خَبِيرٌ ﴿١٨٠﴾

が明確になるようにする。また、あなたがたに幽玄界のことを知らせ、信者と偽信者のお望みになる使徒をお選びになり、幽玄界の一部を伝えるのだ。ちょうどかれが預言者ムハンマドに、偽信者たちの状態を知らせたように。だからアッラーとその使徒に対する、あなたがたの信仰を実行せよ。もしあなたがたが真に信仰し、アッラーのご命令と禁止事項においてアッラーを畏れるのなら、あなたがたにはアッラーの偉大な報奨がある。

174) かれらはハムラーウ・アルアサドへと出征し、アッラーからの偉大な報奨を得て戻ってきた。敵から痛手を被ることなく、無事のまま更なる高い位階を手に入れたのである。かれらはアッラーに従い、かれに対する反抗を慎み、アッラーのお喜びを手に入れた。アッラーは信者たちに対し、偉大な恩恵をお授けになる。

175) あなたがたを恐れさせていた者は、シャイターンだった。シャイターンはその援助者たちを用いて、あなたがたを恐れさせるのだが、かれらに怯むことはない。かれらにはいかなる力もないのだ。あなたがたが真の信者なら、アッラーに従い、かれだけを恐れよ。

176) 使徒よ、踵を返しつつ不信仰へと急ぐ偽信者たちに対して、悲しむのではない。かれらがアッラーを害することなどは、決してないのだ。かれらはアッラーへの信仰と服従から遠ざかることにより、自分自身を害しているだけ。アッラーはかれらを見捨てられ、かれらには成功や来世の取り分などないことを望んでおられる。かれらには地獄での厳しい罰がある。

177) 信仰を不信仰と取り替えてしまった者たちが、アッラーを害することなどは一切ない。かれらは自分自身を害しているであり、来世においては痛烈な罰がある。

178) 主を否定し、その教えを頑なに拒否する者たちは、不信仰のまま猶予されていることが、自分たちにとってよいことだなどと考えるてはならない。事は、かれらが考えている通りではない。われらは、かれらが罪に罪を重ねるべく、かれらを猶予しているのであり、かれらには辱めの罰がある。

179) 信者たちよ、あなたがたが偽信者たちと混在して見分けがつかず、真の信者たちがはっきりしない状態のままにあることは、アッラーの英知に適ったことではない。かれは様々な試練によってし、悪い偽信者から善い信者

本諸節の功德:

- 信者は、シャイターンの援助者による脅しに気を取られてはならない。全ての物事はアッラーにこそ属するのだ。
- 僕は、アッラーからの猶予に慢心してはならない。むしろ猶予の時期が過ぎ去ってしまう前に、アッラーへの悔悟へと急ぐべきである。
- アッラーからの恩恵を出し渋っているけちな者は、アッラーとの取引を自らに禁じることにより、自分自身を害しているだけである。そして審判の日には、罰を受けることになる。

لَقَدْ سَمِعَ اللَّهُ قَوْلَ الَّذِينَ قَالُوا إِنَّ اللَّهَ فَقِيرٌ وَنَحْنُ أَغْنِيَاءُ
 سَنَكْتُبُ مَا قَالُوا وَقَتْلَهُمُ الْأَنْبِيَاءَ بِغَيْرِ حَقٍّ وَنَقُولُ
 ذُوقُوا عَذَابَ الْحَرِيقِ ﴿١٨١﴾ ذَلِكَ بِمَا قَدَّمْتُمْ أَيْدِيكُمْ
 وَأَنَّ اللَّهَ لَيْسَ بِظَالِمٍ لِّلْعَبِيدِ ﴿١٨٢﴾ الَّذِينَ قَالُوا إِنَّ اللَّهَ
 عَهْدٌ إِلَيْنَا إِلَّا نُونُ مَن لَّرَسُولٍ حَتَّىٰ يَأْتِينَنَا بِفُرْيَانٍ
 تَأْكُلُهُ النَّارُ قُلْ قَدْ جَاءَكُم رُسُلٌ مِّن قَبْلِي بِالْبَيِّنَاتِ
 وَبِالَّذِي قُلْتُمْ فَلِمَ قَتَلْتُمُوهُمْ إِنْ كُنْتُمْ صَادِقِينَ
 ﴿١٨٣﴾ فَإِنْ كَذَّبُوكَ فَقَدْ كَذَّبَ رُسُلٌ مِّن قَبْلِكَ جَاءُوا
 بِالْبَيِّنَاتِ وَالزُّبُرِ وَالْكِتَابِ الْمُنِيرِ ﴿١٨٤﴾ كُلُّ نَفْسٍ
 ذَائِقَةُ الْمَوْتِ وَإِنَّمَا تُوَفَّوْنَ أَجُورَكُمْ يَوْمَ الْقِيَامَةِ
 فَمَن زُحِرَ عَنِ النَّارِ وَأُدْخِلَ الْجَنَّةَ فَقَدْ فَازَ وَمَا
 الْحَيَاةُ الدُّنْيَا إِلَّا لَمْتَعٌ عُرُورٌ ﴿١٨٥﴾ * لَتَبْلُوتَ فِي
 أَمْوَالِكُمْ وَأَنفُسِكُمْ وَلَتَسْمَعَنَّ مِنَ الَّذِينَ أَشْرَكُوا أَذًى كَثِيرًا
 وَإِن تَصْبِرُوا وَتَتَّقُوا فَإِنَّ ذَلِكَ مِّن عَزْمِ الْأُمُورِ ﴿١٨٦﴾

الجزء ٨

181 アッラーは、ユダヤ教徒たちがこう言ったのを、お聞きになった。「アッラーは貧しいお方だ。わたしたちから借金を求めるのだから。わたしたちは財産を所有しているし、豊かである。」われらは、かれらが主に対して言った嘘と、預言者たちに対する不当な殺害を、書き留めよう。われらはかれらに、こう言うのだ。「地獄で、焼き尽くしの罰を味わえ。」

182 ユダヤ教徒たちよ、その罰は、あなたがたが自分の手で稼いだ罪ゆえのもの。アッラーは、いかなる僕にも不正を働くことがない。

183 かれらは、確証するものをもたらさない限り使徒の言葉を信じてはいけないと、アッラーが諸啓典と預言者たちの言葉の中で命じたのだ、と嘘を言った者たち。そしてその確証とは、使徒がアッラーに捧げ物をすると、天から火が落ちて来てそれを焼き尽くすことである。かれらはアッラーが仰ってもいないことをかれの命令とし、使徒の正しさの証明に制限をつけたことにより、嘘をついたのだ。アッラーは預言者ムハンマドに、かれらに対してこう言うよう、命じた。「わたし以前にも、使徒たちがかれらの正しさを証明する明証を持って、あなたがたのもとにやって来た。そしてあなたがたが言うように、かれらは捧げ物をし、それは天から落ちて来た火によって焼かれたのだ。なのに、なぜあなたがたはかれらを嘘つきとし、殺害したのか?もしあなたがたが、本当のことを言っているのなら。」

184 預言者よ、かれらがあなたを嘘つき呼ばわりしたとしても、悲しむな。これは不信仰者の常なのであり、あなた以前にも多くの使徒たちが嘘つき呼ばわりされたのだ。かれらは明証を持って来たり、訓戒を含む啓典をもたらし、様々な教えを内包する導きの書をもたらしただが。

185 いかなる者であろうと死を味わう。だから、この現世に欺かれてはならない。審判の日、あなたがたは自分たちの報奨を完全な形で頂くのである。アッラーが地獄から遠ざけ、天国に入れて下さった者こそは、望んでいた善きものを手に入れ、恐れていた悪から救われることになる。現世の生活は消えゆく享楽。それに固執するのは、欺かれた者のみ。

186 信者たちよ、アッラーはあなたがたを、その財産で試みる。つまり財産における義務の遂行や、損失などの試練である。また、あなたがた自身に関しても、イスラームの義務の遂行や、様々な試練によって試みる。あなたがたは過去に啓典を授かった者たちや、多神教の者たちから、あなたがたやあなたがたの宗教に対する中傷など、あなたがたを害するたくさんのことを聞くであろう。そして種々の災難や試練に忍耐し、アッラーのご命令と禁止事項においてアッラーを畏れるのなら、それこそは決意すべき物事であり、競い合うべき物事なのだ。

本諸節の功德:

- ユダヤ教徒たちの悪行の一つに、かれらがアッラーの預言者たちを嘘つき呼ばわりし、殺害したことがある。
- 現世における勝利は不完全なもの。地獄から救われて天国に入ることこそは完全なる勝利であり、来世にしか存在しない。
- 信者たちが、啓典の民や多神教徒たちから受ける宗教ゆえの危害は、試練である。そこで必要なのは忍耐と、アッラーを畏れる心である。

وَإِذْ أَخَذَ اللَّهُ مِيثَاقَ الَّذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ لَشَدِيدَتُهُ لِلنَّاسِ
وَلَا تَكْتُمُونَهُ، فَنَبَذُوهُ وَرَاءَ ظُهُورِهِمْ وَأَشْرَقُوا بِهِ تَمَنَّا
قَلِيلًا فَيَسَّ مَا يَسْتُرُونَ ﴿١٨٧﴾ لَا تَحْسَبَنَّ الَّذِينَ يَفْرَحُونَ بِمَا
أُتُوا وَيُحِبُّونَ أَنْ يُحْمَدُوا بِمَا لَمْ يَفْعَلُوا فَلَا تَحْسَبَنَّهُمْ
بِمَفَازٍ مِنَ الْعَذَابِ وَلَهُمْ عَذَابٌ أَلِيمٌ ﴿١٨٨﴾ وَلِلَّهِ مُلْكُ
السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاللَّهُ عَلَى كُلِّ شَيْءٍ قَدِيرٌ ﴿١٨٩﴾ إِنْ فِي
خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ وَاخْتِلَافِ اللَّيْلِ وَالنَّهَارِ لآيَاتٍ
لِأُولِي الْأَلْبَابِ ﴿١٩٠﴾ الَّذِينَ يَذْكُرُونَ اللَّهَ قِيَمًا وَقَعُودًا
وَعَلَىٰ جُنُوبِهِمْ وَيَتَفَكَّرُونَ فِي خَلْقِ السَّمَوَاتِ وَالْأَرْضِ
رَبَّنَا مَا خَلَقْتَ هَذَا بَطْلًا سُبْحَانَكَ فَقِنَا عَذَابَ النَّارِ ﴿١٩١﴾
رَبَّنَا إِنَّكَ مِنْ تَدْخُلِ النَّارِ فَقَدْ أَخْرَجْتَهُ وَمَا لِلظَّالِمِينَ مِنْ
أَنْصَارٍ ﴿١٩٢﴾ رَبَّنَا إِنَّا سَمِعْنَا مُنَادِيًا يُنَادِي لِلْإِيمَانِ أَنْ
ءَامِنُوا بِرَبِّكُمْ فَآمَنَّا رَبَّنَا فَاغْفِرْ لَنَا ذُنُوبَنَا وَكَفِّرْ عَنَّا
سَيِّئَاتِنَا وَتَوَقَّفْ مَعَ الْأَبْرَارِ ﴿١٩٣﴾ رَبَّنَا وَءَاتِنَا مَا وَعَدْتَنَا عَلَىٰ
رُسُلِكَ وَلَا تَحْزِنْنَا يَوْمَ الْقِيَمَةِ إِنَّكَ لَا تُخْلِفُ الْمِيعَادَ ﴿١٩٤﴾

①87 預言者よ、アッラーが、ユダヤ教徒とキリスト教の学者たちから、このような確約を取った時のことを思い出させよ。「アッラーの書の人々に対して必ず説明せよ。その中にある導きや、ムハンマドの預言者性を示す証拠を隠蔽してはならない。」しかしかれらは契約を捨てた。かれらは真理を隠蔽して虚妄を掲げ、アッラーの契約を地位や財産といった安い代価と交換してしまったのだ。アッラーの契約と交換する、このような代価の忌まわしいことよ。

①88 預言者よ、自分が行った悪事に喜んだり、行ってもない善行で人から称賛されることを愛する者たちが、地獄から救われるなどと考えるな。かれらの居場所は地獄。かれらにはそこで痛烈な懲罰がある。

①89 アッラーのみに、天地と、そこにおける創造と采配の主権は属する。アッラーは全てのことがお出来のお方。

①90 天地を無から存在させたこと、夜と昼の変転には、正常な理性を有する者たちにとっての明らかな印がある。それは存在の創造主、崇拜に値する唯一のお方を示しているのだ。

①91 かれらは立ち、座り、横になっている時でも、いつでもアッラーを念じる。また、天地の創造に考えを巡らし、こう言う。「主よ、あなたはこの偉大な創造を無意味にお創りになったものではありません。あなたは無意味さなどからは縁遠いのです。わたしたちを善行へと導き、悪行から守り、地獄の罰から遠ざけて下さい。」

①92 主よ、地獄に入れられた者をあなたは辱め、晒し上げます。審判の日、不正者たちをアッラーの罰から守ってくれる援助者などおりません。

①93 主よ、わたしたちは信仰へと呼びかける預言者ムハンマドが、「あなたがたの主アッラーを、唯一の神として信じよ」と呼ぶのを聞き、そのことを信じ、教えに従いました。ですからわたしたちの罪をお赦しになり、わたしたちを辱めないで下さい。わたしたちの悪事を大目に見、それでお咎めにはならないで下さい。善行を行い、悪事から遠ざけ、わたしたちの命を正しい者たちと共に全うさせて下さい。

①94 主よ、あなたが使徒たちの言葉でわたしたちにした約束、現世でのお導きと勝利をお授け下さい。そして審判の日、わたしたちを地獄に入れることで辱めないで下さい。主よ、本当にあなたは約束を破ることのない、尊いお方。」

本諸節の功德:

- 知識の隠蔽、私欲への追従、内面と行いの悪さにも関わらず、人からの称賛を喜ぶことは、啓典の民の悪い学者たちの特徴である。
- 天地におけるアッラーの創造、時間の変転は、アッラーの偉大さへの確信と、かれへの完全なる服従をもたらす。
- アッラーへの祈願と、かれへの心の服従は、よき僕であることの完全な印の一つ。

فَأَسْتَجَابَ لَهُمْ رَبُّهُمْ أَنِّي لَا أُضِيعُ عَمَلَ عَمِلٍ مِّنْكُمْ مِّنْ ذَكَرٍ أَوْ أُنثِيَ بَعْضُكُمْ مِّنْ بَعْضٍ فَأَلْزَمْنَا الْكَافِرِينَ مِنَ دِينِهِمْ وَأَوْذُوا فِي سَبِيلِ وَقَاتَلُوا وَقَاتَلُوا لَأُكَفِّرَنَّ عَنْهُمْ سَيِّئَاتِهِمْ وَلَأُدْخِلَنَّهُمْ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ ثَوَابًا مِّنْ عِنْدِ اللَّهِ وَاللَّهُ عِنْدَهُ حُسْنُ الثَّوَابِ ١٩٥

لَا يَغْرِبُكَ تَقَلُّبُ الَّذِينَ كَفَرُوا فِي الْبِلَادِ ١٩٦ مَتَّعَ قَلِيلٌ ثُمَّ مَأْوَاهُمْ جَهَنَّمُ وَبِئْسَ الْمِهَادُ ١٩٧ لَكِنَّ الَّذِينَ اتَّقَوْا رَبَّهُمْ لَهُمْ جَنَّاتٌ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا نُزُلًا مِّنْ عِنْدِ اللَّهِ وَمَا عِنْدَ اللَّهِ خَيْرٌ لِلْآبِرَارِ ١٩٨ وَإِنْ مِنْ أَهْلِ الْكِتَابِ لَمَنْ يُؤْمِنُ بِاللَّهِ وَمَا أُنزِلَ إِلَيْكُمْ وَمَا أُنزِلَ إِلَيْهِمْ خَشَعِينَ لِلَّهِ لَا يَشْتُرُونَ بِآيَاتِ اللَّهِ ثَمَنًا قَلِيلًا أُولَئِكَ لَهُمْ أَجْرُهُمْ عِنْدَ رَبِّهِمْ إِنَّ اللَّهَ سَرِيعُ الْحِسَابِ ١٩٩ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ آمَنُوا أَصْبِرُوا وَصَابِرُوا وَرَابِطُوا وَاتَّقُوا اللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُفْلِحُونَ ٢٠٠

سورة النساء

195)かれらの主は、かれらの祈りにお答えになった。「われがあなたがたの行いに対する報奨を無にすることはない。行う者が男性か女性かも問わない。宗教におけるあなたがたの決まりは同一で、男性に増やされることもなければ、女性から減らされることもない。アッラーの道において移住し、不信仰者から故郷を追い出され、主への服従ゆえに迫害を受け、アッラーの道において戦い、アッラーの御言葉が最高のものとなるために殺された者たちは、審判の日にわれがその罪を赦してやろう。そしてかれらを、その城郭の下から河川が流れる天国に入れてやろう。」それはアッラーからの報奨。アッラーの御許にこそ、よき報奨はある。

196)預言者よ、不信仰者たちが国々を歩き回り、勢力を振るい、商売や糧に富んでいることに欺かれるな。かれらの状態に、不安を抱いてはならない。

197)この現世は僅かな楽しみであり、永續することはない。その後、審判の日にかれらが戻る先は、地獄なのだ。かれらの寝床である地獄は、何と忌まわしいことか。

198)しかし、ご命令と禁止事項において主を畏れる者たちには、その城郭の下から河川が流れる天国がある。かれらはそこに永遠に留まる。これはかれらのために準備された、アッラーの御許からの報奨。アッラーが正しい僕のために準備したものは、不信仰者たちが楽しんでいる現世の享楽よりもよいのである。

199)啓典の民は一様ではない。かれらの中にはアッラーと、あなたがたに下された真理と導き、およびかれらの啓典を信じ、アッラーの使徒たちの間に差別を設けない一団がある。かれらはアッラーの御許にあるものを希求し、かれに服従し、アッラーの印を現世の楽しみと交換したりはしない。それらの者たちには、主の御許で偉大な報奨がある。アッラーは行いの計算も報いも、速いお方。

200)アッラーを信じ、その使徒に従った者たちよ、イスラームの教えの義務の遂行と、現世での災難において忍耐せよ。不信仰者たちに辛抱強さで負けてはならない。また、アッラーの道における奮闘努力の上に確立し、アッラーのご命令と禁止事項においてアッラーを畏れよ。あなたがたは恐らく、地獄からの無事と天国の獲得を手に入れるであろう。

本諸節の功德:

- アッラーの道における移住、追放、奮闘努力といったことは、罪滅ぼしと報奨の倍増をもたらす最大の要因の一つ。
- 不信仰者が現世で享受している財産や快樂といったものには、それがいかに大きかったとしても、留意すべきではない。現世は消滅するからだ。真に留意すべきは、来世での行先と永遠の居場所である。
- アッラーへの祈願と、かれに対する心の服従は、よき僕であることの最も完全な印の一つ。啓典の民には、かれらの啓典の中にあるものを真理であると証言し、かれらに下されたものと信者たちに下されたものを信じる者たちがいる。かれらには倍の報奨がある。
- 真理と、それを嘘とする者たちに勝利すること、そしてそのために奮闘努力すること。そこにおける忍耐こそは、来世における成功の道である。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

يَا أَيُّهَا النَّاسُ اتَّقُوا رَبَّ الَّذِي خَلَقَكُمْ مِنْ نَفْسٍ وَاحِدَةٍ وَخَلَقَ مِنْهَا
 زَوْجَهَا وَبَثَّ مِنْهُمَا رِجَالًا يَذَرِبُونَ أَضْغَانًا وَاتَّقُوا اللَّهَ الَّذِي تَسَاءَلُونَ
 بِهِ وَالْأَرْحَامَ إِنَّ اللَّهَ كَانَ عَلَيْكُمْ رَقِيبًا ﴿١﴾ وَءَاتُوا الْيَتَامَىٰ أَمْوَالَهُمْ
 وَلَا تَتَّبِعُوا الْأَمْوَالَ بِالطَّبِيبِ وَلَا تَأْكُلُوا أَمْوَالَهُمْ إِلَىٰ أَمْوَالِكُمْ إِنَّهُ
 كَانَ حُوبًا كَبِيرًا ﴿٢﴾ وَإِنْ خِفْتُمْ أَلَّا تَقْسُطُوا فِي الْيَتَامَىٰ فَانكِحُوا
 مَا طَابَ لَكُمْ مِنَ النِّسَاءِ مِمَّنِّي وَتِلْكَ أُمَّةٌ قَدْ خَفَتْ أَلَّا يَتَعَدَّلُوا
 فَوَاحِدَةٌ أَوْ مَمْلُوكَةٌ أَيْمَانُكُمْ ذَلِكَ أَدْنَىٰ أَلَّا تَعُولُوا ﴿٣﴾ وَءَاتُوا
 النِّسَاءَ صَدَقَاتِهِنَّ نِحْلَةً فَإِنْ طِبْنَ لَكُمْ عَنْ شَيْءٍ مِنْهُ نَفْسًا فَكُلُوهُ
 هَنِيئًا مَرِيئًا ﴿٤﴾ وَلَا تَوْلُوا السُّفَهَاءَ أَمْوَالَكُمُ الَّتِي جَعَلَ اللَّهُ لَكُمْ
 قِيَمًا وَزُكُوفًا فِيهَا وَأَكْسُوهُمْ وَأَقْرَبُوا لَهُمْ قَوْلًا مَعْرُوفًا ﴿٥﴾ وَابْتَلُوا
 الْيَتَامَىٰ حَتَّىٰ إِذَا بَلَغُوا النِّكَاحَ فَإِنْ آنَسْتُمْ مِنْهُمْ رُشْدًا فَادْفَعُوا
 إِلَيْهِمْ أَمْوَالَهُمْ وَلَا تَأْكُلُوهَا إِسْرَافًا وَبِدَارًا أَنْ يَكْبَرُوا وَمَنْ كَانَ
 غَنِيًّا فَلْيَسْتَعْفِفْ وَمَنْ كَانَ فَقِيرًا فَلْيَأْكُلْ بِالْمَعْرُوفِ فَإِذَا
 دَفَعْتُمْ إِلَيْهِمْ أَمْوَالَهُمْ فَأَشْهَدُوا عَلَيْهِمْ وَكَفَىٰ بِاللَّهِ حَسِيبًا ﴿٦﴾

本章の趣旨:

ムスリム社会の組織化とその関係構築、権利の保護やジハード(奮闘努力)の奨励、キリスト殺害という主張の退けに焦点が当てられる。

説明:

婦人章と名づけられているのは、女性に関する法規定の詳細が示されているためである。

① 人々よ、あなたがたの主を畏れよ。かれこそはあなたがたを父祖アダムという一人の人間からお創りになり、更にアダムからその妻であり、あなたがたの母であるハウワウをお創りになったお方。そしてかれら二人から、大地に多くの男女を広げられた。あなたがたが「アッラーにおいて、あなたにお願いする」と言って、かれにおいて互いに頼み事をするアッラーを畏れよ。また、近親の断絶を恐れよ。アッラーはあなたがたを見守られるお方。あなたがたの行いを数え尽くし、それに対して報いるお方である。

② 後見人たちよ、孤児が成年に達し、分別をつけたら、かれらの財産を完全な形で渡せ。孤児の財産の貴重なものと、あなたがたの財産の悪いものを取り替えたりして、非合法的なものを手にしてはならない。孤児の財産をあなたがたの財産と一緒にたして加えてもならない。それはアッラーの御許で大きな罪なのだ。

③ あなたがたが、あなたがたの後見下にある女の孤児と結婚しても、義務の婚資金の不足や彼女らを公正に扱えないことを恐れるのなら、彼女らとは結婚するな。そして望むのなら、彼女たち以外のよい女性と、二人でも、三人でも、四人でも結婚するがよい。だが、もし公平に扱えないことを恐れるなら、一人だけに留めておけ。あるいはあなたがたの右手が所有する女奴隷にしておけ。彼女ら(女奴隷)には、正妻のような諸権利はない。

孤児について章句で言及されていること、妻を一人だけに留めておくこと、女奴隷を選んでおくことの方が、罪から身を守るにあたって最良なのだ。

④ 女性たちに、義務の婚資金を与えよ。もし彼女らが自発的に婚資金の一部を譲歩するなら、それを気持ちよく頂くがよい。

⑤ 後見人たちよ、財産をその管理に長じない者に渡してはならない。アッラーは財産を、僕たちの福利の実現と、その生活の諸事のための要因としたのだ。かれらは財産の管理にふさわしい者たちではない。かれらにはその財産から費やし、服を着させ、よい言葉をかけてやれ。かれらに分別が付き、管理する力がついたら、かれらの財産を渡すのだという、よい約束をしてやるのだ。

⑥ 後見人たちよ、孤児たちが成年に達したら、かれらにかれらの財産の一部を与えて使わせ、試みよ。もしかれらが上手に管理出来、かれらの分別が明らかになったなら、かれらの財産を不足なくかれらに渡すのだ。アッラーが許して下さった必要時の限度を超えて、かれらの財産に手を付けてはならない。また、成年後に渡す時のことを恐れて、いち早くそれに手を付けてしまおうとしてもならない。十分な財産を有する者は、孤児の財産に手を付けることを控えよ。財産がなく貧しい者は、必要な範囲でそれを使うがよい。かれらが成年に達して分別をつけた後、かれらにかれらの財産を渡したならば、議論が生じる原因防止のために、渡したことを証言させよ。アッラーこそは証人として十分なお方であり、僕たちの行いを清算されるお方。

本諸節の功德:

- 人類が立ち返ることのできる祖は一つ。だから人間は自分たちの創造主を畏れ、お互いに慈悲深くあらなければならない。
- アッラーは女性や孤児といった弱者に対する善行を命じた。かれらには公正さと寛容さの釣りが取れた形で接しなければならない。
- 妻は4人まで娶ることが合法。ただし、彼女らを公平に扱い、彼女たちへの義務を果たす力があることが条件づけられる。
- 管理能力に秀でない浪費家に、財産の管理を禁じることの合法性。それは本人の福利と、現世の福利である財産の喪失を保護するためである。

لِّلرِّجَالِ نَصِيبٌ مِّمَّا تَرَكَ الْوَالِدَانِ وَالْأَقْرَبُونَ وَلِلنِّسَاءِ نَصِيبٌ مِّمَّا تَرَكَ الْوَالِدَانِ وَالْأَقْرَبُونَ مِمَّا قَلَّ مِنْهُ أَوْ كَثُرَ نَصِيبًا مَّفْرُوضًا ﴿٧٧﴾ وَإِذَا حَضَرَ الْقِسْمَةَ أُولُو الْقُرْبَىٰ وَالْيَتَامَىٰ وَالْمَسْكِينُ فَأَرْزُقُوهُمْ مِنْهُ وَقُولُوا لَهُمْ قَوْلًا مَعْرُوفًا ﴿٧٨﴾ وَلِيَحْشَ الَّذِينَ لَوْ تَرَكَوْا مِنْ خَلْفِهِمْ ذُرِّيَّةً ضِعَفًا خَافُوا عَلَيْهِمْ فَلْيَتَّقُوا اللَّهَ وَلْيَقُولُوا قَوْلًا سَدِيدًا ﴿٧٩﴾ إِنَّ الَّذِينَ يَأْكُلُونَ أَمْوَالَ الْيَتَامَىٰ ظُلْمًا إِنَّمَا يَأْكُلُونَ فِي بُطُونِهِمْ نَارًا وَسَيَصْلَوْنَ سَعِيرًا ﴿٨٠﴾ يُوصِيكُمُ اللَّهُ فِي أَوْلَادِكُمْ لِلَّذِي لَكَ مِنَ الْوَالِدِينَ فَإِن كَانَ نِسَاءُ فَوْقَ اثْنَتَيْنِ فَهِنَّ نَاشِئَاتٌ مِّمَّا تَرَكَ وَإِن كَانَتْ وَاحِدَةً فَلَهَا النِّصْفُ وَلِأَبَوَيْهِ لِكُلِّ وَاحِدٍ مِّنْهُمَا السُّدُسُ مِمَّا تَرَكَ إِن كَانَ لَهُ وَلَدٌ فَإِن لَّمْ يَكُنْ لَهُ وَلَدٌ وَوَرِثَتْهُ أَبَوَاهُ فَلِأُمِّهِ الثُّلُثُ فَإِن كَانَ لَهُ إِخْوَةٌ فَلِأُمِّهِ السُّدُسُ مِنْ بَعْدِ وَصِيَّةٍ يُوصِي بِهَا أَوْ دَيْنٍ ؕ لِأَبَائِكُمْ وَلِأُمَّاتِكُمْ أَتَدْرُونَ أَيُّهُمْ أَقْرَبُ لَكُمْ نَفَعًا فَرِيضَةٌ مِنَ اللَّهِ إِنَّ اللَّهَ كَانَ عَلِيمًا حَكِيمًا ﴿٨١﴾

⑧ 男性には多かれ少なかれ、両親と、兄弟やおじといった近親が死後に遺したもののからの取り分がある。そして女性にも、女性や子供の相続が禁止されていた時代の慣習とは異なり、かれらの遺産からの取り分がある。この取り分はその数量が明白な権利であり、アッラーからの義務である。

⑨ 遺産の分配の場に、相続権のない近親や孤児や貧者がやって来たら、その財産の中から分配前に、かれらの慰めとなる程度のものを与えてやるのが推奨される。かれらはそれを所望しつつ、苦勞を忍んでやって来たのだ。かれらには悪い言葉ではなく、よい言葉をかけてやれ。

⑩ もし自分たちが他界したら、路頭に迷ってしまいそうな年若く無力な子息を心配せよ。孤児などの後見下にある者たちへの不正を放棄し、アッラーを畏れよ。それは後見人の死後、後見下の者に対してかれらと同様によくする者たちが出て来るのを容易にするためでもある。また、遺言者のもとを訪れる子供たちの権利を、十分に果たさせよ。かれらには正しい言葉を語らせ、自分の他界後の相続人の権利に関し、遺言に不正がないようにさせよ。また遺言の放棄によって、自分自身に徳を禁じてもらえない。

⑪ 孤児の財産に手をつけ不正使用する者たちは、その腹で燃え盛る炎を食べているに他ならない。その炎は審判の日、かれらを焼くことになる。

⑫ アッラーは子供たちの相続に関し、お命じになる。遺産は、男子に女子の倍の取り分がある。故人が男子を残さず、複数の女子を残したら、彼女たちには遺産の三分の二がある。もし女子が一人なら、彼女には遺産の半分がある。故人の両親には、各々に遺産の六分の一があるが、これは故人に、男女を問わず子供があった場合である。他方、故人に子供がなく、両親以外に相続人がいない場合、母親には三分の一があり、残りの遺産は父親のものとなる。また故人に、性別や、父親が同一であるかどうかを問わず、二人以上の兄弟姉妹がいるならば、母親には固定相続として六分の一、残りは変動相続として父親のものとなり、兄弟姉妹には何も残らない。これらの遺産分配は、故人の遺言の実行後に行われる。ただし遺言による分与は財産の三分の一を超えず、故人の債務を遂行しておくことが条件となる。アッラーは遺産分与をこのように定められた。それはあなたがたが現世と来世において、親や子供の一体誰が、あなたがたにとってより有益かを知らないためである。そのようなことを全てご存知なのは、アッラーのみ。アッラーは説明通りに遺産を分け、それを僕たちに対する義務とした。アッラーは僕たちの福利の一切をご存知であり、その法と采配において英知あふれるお方。

本諸節の功德:

- イスラーム遺産相続規定は、イスラーム法が男女間の公正な福利の実現に配慮し、男女いずれにも権利を与えていることを示している。
- 孤児の財産における侵害と、その損失の禁止の強調。
- 財産は、人々の間に議論をもたらす最大の原因の一つ。そのためにアッラーが遺産相続規定においてその分配をお定めになったのである。

*وَلَكُمْ نِصْفُ مَا تَرَكَ أَزْوَاجُكُمْ إِنْ لَمْ يَكُنْ
 لَهُنَّ وَلَدٌ فَإِنْ كَانَ لَهُنَّ وَلَدٌ فَلَكُمْ الرُّبْعُ مِمَّا
 تَرَكَتْنَ مِنْ بَعْدِ وَصِيَّتِهِنَّ يُوصِيَتْنَ بِهِنَّ أَوْلَادُهُنَّ
 وَلَهُنَّ الرُّبْعُ مِمَّا تَرَكَتُمْ إِنْ لَمْ يَكُنْ لَكُمْ وَلَدٌ
 فَإِنْ كَانَ لَكُمْ وَلَدٌ فَلَهُنَّ الثُّمُنُ مِمَّا تَرَكَتُمْ
 مِنْ بَعْدِ وَصِيَّتِهِنَّ يُوصُونَ بِهِنَّ أَوْلَادُهُنَّ وَإِنْ كَانَ
 رَجُلٌ يُورِثُ كَلَلَةً أَوْ امْرَأَةً أَوْ أَخًا أَوْ أُخْتًا فَلِكُلِّ
 وَاحِدٍ مِّنْهُمَا السُّدُسُ فَإِنْ كَانُوا أَكْثَرَ مِنْ ذَلِكَ
 فَهُمْ شُرَكَاءُ فِي الثُّلُثِ مِنْ بَعْدِ وَصِيَّتِهَا يُوصَلُ
 بِهِنَّ أَوْلَادُهُنَّ غَيْرَ مُمَازٍ وَصِيَّتَةٌ مِّنَ اللَّهِ وَاللَّهُ
 عَلِيمٌ حَلِيمٌ ﴿١٣﴾ تِلْكَ حُدُودُ اللَّهِ وَمَنْ يُطِيعِ اللَّهَ
 وَرَسُولَهُ وَيُدْخِلْهُ جَنَّاتٍ تَجْرِي مِنْ تَحْتِهَا
 الْأَنْهَارُ خَالِدِينَ فِيهَا ذَلِكَ الْفَوْزُ الْعَظِيمُ
 ﴿١٤﴾ وَمَنْ يَعَصِ اللَّهَ وَرَسُولَهُ وَيَتَعَدَّ حُدُودَهُ
 يُدْخِلْهُ نَارًا خَالِدًا فِيهَا وَلَهُ عَذَابٌ مُّهِينٌ ﴿١٥﴾

⑬ 夫たちよ、あなたがたには、妻たちの遺産の半分がある。それは彼女たちに、性別を問わず、また、あなたがたがその父親であるかどうかを問わず、子供がなかった場合である。他方、その性別を問わず、彼女らに子供があった場合、あなたがたには彼女らの遺産の四分の一がある。彼女らの遺言を実行し、彼女らの債務を返済した後、分与が行われる。また夫たちよ、妻たちには、あなたがたの遺産の四分の一がある。それはあなたがたに、性別を問わず、また、彼女らがその母親であるかどうかを問わず、子供がなかった場合である。他方、その性別を問わず、あなたがたに子供があった場合、彼女らにはあなたがたの遺産の八分の一がある。あなたがたの遺言を実行し、あなたがたの債務を返済した後、分与が行われる。また、男か、あるいは女が、親も子もない状態で死を迎え、その者に母親を同じくする一人の兄弟か、一人の姉妹がいた場合、かれらには固定相続として六分の一がある。そして母親を同じくする兄弟姉妹が二人以上だったなら、かれらは遺産の三分の一を共同して相続する。この場合、男女の分与額は均等である。これもまた故人の遺言を実行し、その債務を返済した後に分与されるが、ただしその遺言が相続人に害を及ぼさないことが条件である。たとえば、遺言による遺産分与額が、故人の財産の三分の一を超えていたりするような場合である。この章句に含まれる規定は、あなたがたにアッラーが義務づけたもの。アッラーは現世と来世における僕たちの福利をご存知になり、罪深い者に罰をお急ぎにならないお方。

⑭ 孤児やそれ以外の者たちに関するこれらの諸規定は、アッラーの法である。アッラーは僕たちがそれを実行すべく、お定めになった。アッラーのご命令と禁止事項を守ることにおいてかれとその使徒に従う者は、天国に入る。天国の城郭の下からは河川が流れ、そこで永遠に留まるのだ。この報奨こそは偉大な成功である。

⑮ アッラーの法の不履行、そこにおける疑念などによって、アッラーとその使徒に反し、その法を守らない者は、地獄に入る。そこでは屈辱的な罰があるのだ。

本諸節の功德:

- 故人の債務の返済、全財産の三分の一以下の範囲内での遺言による遺産の分与が済まない内は、相続人への遺産分与はなされない。
- いい加減な遺産分与に対する警告。遺産分与は信者に対するアッラーからのご命令であり、その放棄やいい加減さは許されない。
- アッラーのご命令と禁止事項を重大視して守り、その法の枠を超えないことは、信仰の印の一つである。
- アッラーはかれに服従する者には偉大な報奨を約束したが、かれに反抗し、その法の限度を超える者には厳罰を約束した。そのいずれも、かれの公正さと英知によるものである。

وَالَّتِي يَأْتِينَ الْفَاحِشَةَ مِنْ نِسَائِكُمْ فَاسْتَشْهِدُوا عَلَيْهِنَّ
 أَرْبَعَةً مِّنْكُمْ فَإِنْ شَهِدُوا فَأَمْسِكُوهُنَّ فِي الْبُيُوتِ
 حَتَّىٰ يَتَوَفَّيَهُنَّ الْمَوْتُ أَوْ يَجْعَلَ اللَّهُ لَهُنَّ سَبِيلًا ﴿١٥﴾
 وَالَّذَانِ يَأْتِيَنَّهَا مِنْكُمْ فَكَادُوهُمَا فَإِنْ تَابَا وَأَصْلَحَا
 فَأَعْرِضُوا عَنْهُمَا إِنَّ اللَّهَ كَانَ تَوَّابًا رَّحِيمًا ﴿١٦﴾
 إِنَّمَا التَّوْبَةُ عَلَى اللَّهِ لِلَّذِينَ يَعْمَلُونَ السُّوءَ بِجَهَالَةٍ
 ثُمَّ يَتُوبُونَ مِنْ قَرِيبٍ فَأُولَٰئِكَ يَتُوبُ اللَّهُ عَلَيْهِمْ
 وَكَانَ اللَّهُ عَلِيمًا حَكِيمًا ﴿١٧﴾ وَلَيْسَتِ التَّوْبَةُ لِلَّذِينَ
 يَعْمَلُونَ السَّيِّئَاتِ حَتَّىٰ إِذَا حَضَرَ أَحَدَهُمُ الْمَوْتُ
 قَالَ إِنِّي تُبْتُ أَلَنْ وَلَا الَّذِينَ يَمُوتُونَ وَهُمْ كُفَّارٌ
 أُولَٰئِكَ أَعْتَدْنَا لَهُمْ عَذَابًا أَلِيمًا ﴿١٨﴾ يَا أَيُّهَا الَّذِينَ
 ءَامَنُوا لَا يَحِلُّ لَكُمْ أَنْ تَرْتَابُوا النِّسَاءَ كَرِهًا وَلَا تَعْضُلُوهُنَّ
 لِيَتَدْهَبُوا بِبَعْضِ مَاءِ آتِيَتِمُوهُنَّ إِلَّا أَنْ يَأْتِيَنَّ بِفَاحِشَةٍ
 مُّبَيِّنَةٍ وَعَاشِرُوهُنَّ بِالْمَعْرُوفِ فَإِنْ كَرِهْتُمُوهُنَّ فَعَسَىٰ
 أَنْ تَكْرَهُوا شَيْئًا وَيَجْعَلَ اللَّهُ فِيهِ خَيْرًا كَثِيرًا ﴿١٩﴾

15 未婚か既婚かを問わず、姦淫を犯す女性に対しては、信頼ある四名のムスリム男性に証言させよ。もしかれらが、彼女たちがそれを犯したことを証言したならば、罰として彼女たちを家に閉じ込めるのだ。それは、彼女たちがそこでそのまま死を迎えるか、あるいはアッラーが彼女たちに拘留以外の方法をお与えになるまで続く。なお、この後、アッラーはかれらにその方法をお与えになった。未婚者に対する100回の鞭打ち刑と1年間の故郷からの追放、既婚者に対する石打ちの刑である。

16 未婚か既婚かを問わず、姦淫を犯す二人に関しては、屈辱と叱責の意味で、舌と手を用いて罰せよ。しかし、かれらが過去の行いから手を引き、その行いが改善されたなら、かれらを守るのを止めるのだ。罪から悔悟する者は、あたかも罪がないようなもの。アッラーは僕の悔悟を受け入れて下さり、かれらに慈悲深いお方。

17 アッラーが悔悟を受け入れて下さるのは、無知なままに罪を犯した後、死を迎える前に主に悔悟する者たち。故意であれ過失であれ、罪を犯す者は誰でも無知なのである。アッラーは、そのような者の悔悟を受け入れ、罪を大目に見て下さる。アッラーは被害物の状態をご存知になり、その定めと法において英知あふれたお方。

18 アッラーは、罪に固執し、死が降りかかる前に悔悟することもなかった者の悔悟を、お受け入れにはならない。そのような者は死が到来した時になって、「今わたしは罪から悔悟します」などと言うのだ。同様にアッラーは、不信仰のまま死を迎えた者たちの悔悟を、受け入れては下さらない。罪に固執する反逆者と、不信仰のまま死を迎える者に対し、**われら**は痛烈な罰を準備しておいた。

19 アッラーを信仰し、その使徒に従う者たちよ。あなた方が、あなた方の父親や親戚の妻たちを財産相続のように相続することは許されない。彼女たちと結婚したり、あなた方が望む者と結婚させたり、彼女たちに結婚を禁じたりして、彼女たちをあなた方の思うままにはしてはならない。また、あなた方が与えた婚資金などの一部を譲歩させるため、あなた方が嫌っている妻たちを嫌がらせるために留め置くことも許されない。ただし、彼女らが姦淫などの明らかな醜行を働いた場合は別である。そういった場合、彼女たちが代償を支払うべく、彼女たちを留め置いて困らせることが出来る。あなた方の妻とは、よい付き合いをせよ。害を与えないようにし、善行を施すがよい。もし現世なことでも彼女たちを嫌いになっても、忍耐せよ。アッラーはあなた方が嫌うことにおいてでさえも、現世と来世においてたくさんよいことを準備されているかもしれないのだ。

本諸節の功徳:

- 姦淫は個人と社会に対して最も危険が大きい罪であり、そのため厳罰が定められた。
- 僕たちに対するアッラーのお慈悲。アッラーは罪を犯した全ての者に悔悟の扉を開き、その道を歩むことをお助け下さる。
- 故意であれ過失であれアッラーに対して罪を犯す者は、自分が反抗している対象、罪の影響、自分に返って来る罰に対して無知なのだ。
- バランスの取れた視点が、夫婦生活を継続させる要因の一つである。それは人の嫌な部分にだけ目を向けず、よい点にも目を向けることである。自分が嫌に思うことでも、アッラーはそこにたくさんよいことを準備しているかもしれない。

وَإِنْ أَرَدْتُمْ اسْتِبْدَالَ زَوْجٍ مَّكَانَ زَوْجٍ وَءَاتَيْتُمْ
 إِحْدَاهُنَّ قَطْرًا فَلَا تَأْخُذْوا مِنْهُ شَيْئًا أَتَأْخُذُونَهُ
 بُهْتَانًا وَإِثْمًا مُّبِينًا ﴿٢٠﴾ وَكَيْفَ تَأْخُذُونَهُ وَقَدْ أَفْضَى
 بَعْضُكُمْ إِلَى بَعْضٍ وَأَخَذْنَ مِنْكُمْ مِيثَاقًا غَلِيظًا
 ﴿٢١﴾ وَلَا تَنْكِحُوا مَا نَكَحَ آبَاؤُكُمْ مِنَ النِّسَاءِ
 إِلَّا مَا قَدْ سَلَفَ إِنَّهُ كَانَ فَحِشَةً وَمَقْتًا وَسَاءَ
 سَبِيلًا ﴿٢٢﴾ حُرِّمَتْ عَلَيْكُمْ أُمَّهَاتُكُمْ وَبَنَاتُكُمْ
 وَأَخَوَاتُكُمْ وَعَمَّاتُكُمْ وَخَالَاتُكُمْ وَبَنَاتُ
 الْأَخِ وَبَنَاتُ الْأَخْتِ وَأُمَّهَاتُكُمْ الَّتِي أَرْضَعْنَكُمْ
 وَأَخَوَاتُكُمْ مِنَ الرِّضَاعَةِ وَأُمَّهَاتُ نِسَائِكُمْ
 وَرَبِّبَاتُكُمْ الَّتِي فِي حُجُورِكُمْ مِنْ نِسَائِكُمْ
 الَّتِي دَخَلْتُمْ بِهِنَّ فَمَنْ لَمْ تَكُونُوا دَخَلْتُمْ بِهِنَّ فَلَا
 جُنَاحَ عَلَيْكُمْ وَحَلَائِلُ أَبْنَائِكُمُ الَّذِينَ مِنْ
 أَصْلَابِكُمْ وَأَنْ تَجْمَعُوا بَيْنَ الْأُخْتَيْنِ إِلَّا
 مَا قَدْ سَلَفَ إِنَّ اللَّهَ كَانَ غَفُورًا رَحِيمًا ﴿٢٣﴾

20 夫たちよ、もしあなたがたが妻を離婚し、代わりに別の女性と結婚したいならば、そうすることに問題はない。ただし、あなたがたが離婚を決心した女性に、婚資金としてたくさん財産を与えているのならば、そこから少しも取ってはならない。あなたがたが彼女たちに既に与えたものを取ることは、明白な罪である。

21 あなたがたの間に愛情、楽しみ、秘密の共有がなされた後、いかにしてあなたがたは、彼女たちに与えた婚資金を取るというのか?これ以降あなたがたが、彼女たちが所有する財産を望むことは、悪事なのだ。彼女たちはあなたがたから厳しい確約を取り、アッラーの御言葉と法によって、彼女たちの身をあなたがたにとって合法なものとしたのだ。

22 あなたがたの父親が結婚した女性と結婚してはならない。それは非合法なのだ。ただし、イスラーム以前にしてしまったことは、咎められない。自分の父親の妻と結婚することは醜いことこの上なく、アッラーのお怒りの原因となる。彼らは、何とひどい道を歩んでいることか。

23 アッラーはあなたがたに、以下の者たちとの結婚を禁じた。自分の母親と、それより上の祖母、曾祖母など。自分の娘と、それより下の孫娘、曾孫娘など。自分の息子の娘、自分の娘の娘、及びそれより下の卑属。あなたがたと両親、あるいは片親が同一の、あなたがたの姉妹。あなたがたの父方のおば、およびあなたがたの両親の父方のおばと、その尊属。あなたがたの母方のおば、およびあなたがたの両親の母方のおばと、その尊属。兄弟姉妹の娘と、それより下の卑属。あなたがたを授乳した乳母。あなたがたの乳姉妹。あなたがたの妻(あなたがたが彼女たちと、既に性交渉を持っているかどうかは問わない)の母親。通常あなたがたの家で育つが、もしそうではなかったとしても、あなたがたの妻の連れ子である娘。ただしこれは、あなたがたが彼女たち(連れ子の母親)と性交渉を持った場合に限る。もしそうでないのなら、彼女たち

ち(連れ子)と結婚しても問題はない。また、あなたがた自身の息子たちの妻との結婚も禁じられるが、それは、たとえかれらが彼女たちと性交渉を持たなかったとしても同様である。なお、自分の妻が授乳した男子の妻たちも、同様に禁じられる。また、血縁上が授乳によって生じた関係かを問わず、姉妹を同時に娶ることも禁じられる。ジャーヒリーヤ(無明時代)において行ってしまったことを、アッラーは大目に見た。アッラーは悔悟する僕たちに赦し深く、慈悲深いお方である。なお、預言者のスンナにおいては、女性をその父方、あるいは母方のおばと一緒に娶ることも、禁じられている。

本諸節の功德:

- 夫が妻と性交渉を持った時点で、婚資金の義務は確定する。たとえ離婚を望む場合でも、夫はその義務を怠ってはならない、それを手にしようと望んでもならない。
- アッラーは、男性が自分の父親の妻と結婚することを禁じた。それは正常な理性が嫌悪する醜行である。
- アッラーは、血縁、婚姻、授乳によって生じた関係かどうかを問わず、男性に結婚が許される女性と、許されない女性を、細かく説明した。それは女性の名誉尊重と、侵害の防止のためである。